

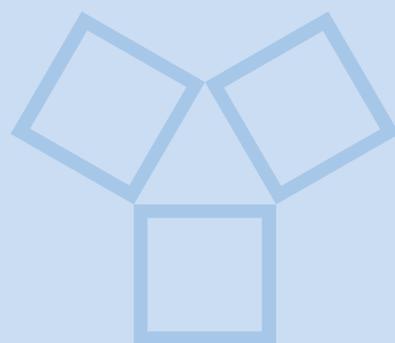
2019

令和1年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2019 – March 2020



YOKOHAMA MUSEUM OF ART

2019

令和1年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2019 – March 2020

目次

基本方針・沿革	5
展覧会事業	
概要	7
企画展1 Meet the Collection—アートと人と、美術館	8
企画展2 原三溪の美術 伝説の大コレクション	10
企画展3 オランジュリー美術館コレクション ルノワールとパリに恋した12人の画家たち	12
横浜美術館コレクション展 2019年4月13日(土)-9月1日(日)	14
横浜美術館コレクション展 2019年9月21日(土)-2020年1月13日(月・祝)	16
コレクションによる海外巡回展	18
絵でたどるペリー来航	20
調査研究・普及活動(個人)	22
美術情報センターの活動	25
教育普及事業	
概要	27
鑑賞サポート	30
子どものアトリエ	34
市民のアトリエ	38
市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業	
市民協働	41
地域社会や市民生活に貢献する事業	43
美術品の収集、保存・修復、貸出	
収集	45
保存・修復	46
貸出	50
広報の活動、外部と連携した事業	
広報	60
外部と連携した事業	62
来館者へのおもてなし	64
国際的な交流・発信	66
開館30周年記念事業	67
資料	
入館者数・収支	70
役員等・組織図	71
職員名簿	72
条例・施行規則	73
施設概要・利用案内	78

注

本年報では、各展覧会を一部下記の略称で表記しています。
「Meet the Collection—アートと人と、美術館」… Meet展
「原三溪の美術 伝説の大コレクション」… 原三溪展
「オランジュリー美術館コレクション ルノワールとパリに恋した12人の画家たち」
… オランジュリー展
「横浜美術館コレクション展」… コレクション展
「絵でたどるペリー来航」… ペリー展

基本方針・沿革

基本方針：国際都市横浜にふさわしい世界に開かれた美術館を目指して

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、横浜市との政策協働による指定管理者制度に基づき、平成25年度から10年間にわたり横浜美術館の運営を担っています。10年間にわたる重点項目として、「発信力の強化」「教育プログラムの強化」「市民とつながるプログラムの強化」「営業力の強化」「経営基盤と人材の強化」の5つを定め、次に掲げる美術館を目指しています。

- ・市民の誰もが美術に親しみ、多くの市民に「観る」「創る」「学ぶ」機会を提供することにより、市民の創造性を育み、心豊かで活力に満ちた生活の実現に貢献する美術館。
- ・世界各国の美術館や美術関係者などとのネットワークの強化や国際交流を促進するとともに、横浜独自の魅力的で質の高い美術文化を国内外に発信することにより、国際都市横浜の魅力とアイデンティティの確立に貢献する美術館。
- ・市民、学校、NPO、企業等の様々な立場や年代、属性を持つ人々と協働することにより、市民から親しまれ、市民が集う、地域に開かれた美術館。
- ・未来を担うこどもたちの創造性を育むため、地域の学校や大学などと連携した取り組みを進め、文化芸術教育の中心的な役割を担う美術館。

沿革

昭和62年10月	運営組織として財団法人横浜市美術振興財団設立
昭和63年3月	建物竣工
9月	横浜美術館条例制定
平成元年2月	外構工事完了
3月25日	美術館開設(横浜博覧会施設として)
11月3日	横浜美術館条例施行・開館
平成14年4月	運営組織が財団法人横浜市文化振興財団と統合され、財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成18年4月	管理運営に指定管理者制度が導入され、財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。(2年間)
平成20年4月	横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント共同事業体が指定管理者となる。(5年間)
平成21年7月	財団法人横浜市芸術文化振興財団が公益法人として認可され、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成25年4月	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。(10年間)

展覧会事業

概要

展覧会は美術館で実施されるさまざまな活動のなかでも、中心的な事業です。横浜美術館では、現在、おおむね次の4種類の展覧会を実施しています。

1つめは、企画展と呼ばれる展覧会です。内外の美術館やコレクターなどから、一定のテーマに基づいて作品や資料を借用し展覧会を構成します。2つめは、コレクション展です。美術館が収集してきた美術品や資料をご覧いただく展覧会です。3つめは、「New Artist Picks」(NAP)という呼び名を持つ展覧会です。今後の活躍が期待される若いアーティストが、小企画スペースであるアートギャラリー1、グランドギャラリーやCafé小倉山など、館内のさまざまな場所を使って意欲的な作品を発表します。そして4つめとして、2011年度から横浜トリエンナーレを企画展事業のひとつとして位置づけています。

企画展

横浜美術館は次のような基本方針により、年間3～4本、バラエティに富んだ内容で企画展を実施しています。平成元年の開館以来、これまでに126本の企画展が開催されました。

- 1 国際港都横浜にふさわしい世界的な視野の企画。
- 2 地域の人々が現代美術に親しみ、現代美術に対する理解を促すような企画。
- 3 横浜と日本写真史の関係を重視し、国際的視野における現代までの写真を多角的にとらえた企画。
- 4 近代日本の美術および横浜ゆかりの美術展。特に原三溪ゆかりの作家を重視しつつ、開港以来の洋画・日本画の流れを歴史的にとらえた企画。また、横浜出身または在住作家を中心に、横浜の美術史を多角的に紹介する企画。
- 5 建築、工芸、デザインなど生活に密着した分野の企画。

(令和1年度3展合計入場者数：340,336人)

コレクション展

当館では、4部屋の展示室を使って、年間1～2回の展示替えをおこない、コレクションを紹介しています。12,000点を越えるコレクションの中から、常時200～300点の作品を厳選して展示します。毎回テーマを設定することで、さまざまな角度からコレクションの魅力にアプローチをしています。当館の収集方針に基づき、分野ごとの特徴をわかりやすく展示する会期もあれば、全体を統一したテーマで構成し、分野を横断した展示を行うこともあります。

(令和1年度2展合計入場者数：356,914人)

New Artist Picks (NAP)

NAP(ナップ)は、New Artist Picksの頭文字を採った呼び名で、横浜美術館の学芸員が独自の視点で選出する国内外の新進アーティストによる小展覧会です。平成18年から進めてきた若手作家支援のプログラムが、平成25年から刷新され、新たなシリーズとして登場しました。年1回程度実施し、入場無料でご覧いただけます。

担当学芸員一押しの、ユニークな活動を展開しつつある有望な若手アーティストをご紹介します。

*令和1年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館のため翌年度へ延期

横浜トリエンナーレ

横浜トリエンナーレは、横浜市で3年に1度開催する現代アートの国際展です。国際的に活躍するアーティストの作品を展示するほか、新進のアーティストも広く紹介し、世界最新の現代アートの動向を提示しています。

2001年に第1回展を開催して以来回を重ね、世界の情勢が目まぐるしく変化する時代の中で、世界と日本、社会と個人の関係を見つめ、アートの社会的な存在意義をより多角的な視点で問い直してきました。第1回(2001年)から第3回(2008年)までは独立行政法人国際交流基金が主催団体のひとつとして事務局を担い、現代アートを通じて日本と各国との文化交流を促すことを目的に事業を実施してきました。第4回(2011年)以降、運営の主体を横浜市に移した後も、文化庁の支援を受けたナショナルプロジェクトとして、そして文化芸術創造都市・横浜を象徴するプロジェクトとして開催を重ね、横浜美術館をメイン会場のひとつとして、多数の来場者を迎えています。



企画展1 Meet the Collection—アートと人と、美術館

開館30周年記念展の第1弾にあたる、当館所蔵品にもとづく企画展。2部構成・全7章のもと、当館の12,000点余のコレクションを中心に、絵画、彫刻、版画、写真、映像、工芸、書籍など計436点を、全展示室のほかグランドギャラリーや屋外などさまざまな空間に展示しました。また、個々のコレクションの多面的な魅力を引き出すための仕掛けとして、東芋、浅井裕介、今津景、菅木志雄の4人をゲスト・アーティストとして招聘。各作家の創作の本質にかかわるテーマのもと、学芸員と共同で展示作品を選定し、そこにそれぞれの自作を組み込みました。

本展が掲げた「出会い」というキーワードは、時代や分野を越境した作品同士を接続するという展示手法にとどまらず、出品作品の選定・展示構成におけるアーティストとのコラボレーション、アーティストと市民による共同制作、展覧会末尾のアンケートコーナー「わたしと横浜美術館」など、展覧会全体を貫くテーマとして設定されたものです。市民の共有財産であるコレクションを起点に「作品」と「人」と「美術館」とを無数の線で結ぶことを試みた本展は、美術館という場が社会の中で果たしうる役割と可能性を見つめなおす契機となりました。

主催: 横浜美術館、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)
助成: 一般財団法人地域創造、芸術文化振興基金
協力: みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ
 首都高速道路株式会社

浅井裕介作品制作協力:

神奈川県立上矢部高等学校
 神奈川大学工学部建築学科都市計画研究室

会期: 平成31年4月13日(土)-令和1年6月23日(日)
 *5月2日(木・休)は開館、5月7日(火)は休館
 *毎週金土は20時まで夜間開館

開催日数: 62日

観覧料: 一般1,100円、大学・高校生700円、中学生500円
 小学生以下無料、65歳以上1,000円

入場者数: 39,804人

出品作品数: 436件

出展作家: 141人(組)

担当: 松永真太郎、木村絵理子、庄司尚子、大澤紗碧子、江口みなみ

カタログ: 128頁

発行: torch press

編集: 網野奈央(torch press)



ポスター



チラシ



広報印刷物デザイン:
 柿木原政広、河村まゆみ(10 inc.)

カタログアートディレクション & デザイン:
 T.S.ヴェンデルシュタイン(75w)

カタログデザイン: 高室涌人

ジュニアワークシートデザイン: 関川航平

撮影: 白井晴幸(p.8) ❖は加藤 健)



カタログ



ジュニアワークシート





企画展2 原三溪の美術 伝説の大コレクション

生糸貿易や製糸業などで財を成し、美術収集家としても知られた横浜の実業家・原三溪（本名：富太郎、1868～1939年）の生誕150年・没後80年を記念する展覧会を開催しました。本展では、三溪の芸術にかかわる4つの側面、すなわち「コレクター」「茶人」「アーティスト」「パトロン」としての業績に焦点を当て、文化人としての三溪の全体像を描き出すことを趣旨としました。今日国宝や重要文化財に指定される名品31点を含む三溪旧蔵の美術品や茶道具100件、三溪自筆の書画25件、三溪が支援した美術家たちの作品23件に加え、三溪のコレクションの形成過程や分類に関する考え方を伝える買入覚や蔵品目録などの文書を展覧し、三溪の独創的な美術史観を読み解くことを試みました。また本展では、気鋭の三溪研究者や各分野の専門家をイベント講師や図録寄稿者に招き、彼らとともに作品や文書を詳察し、三溪研究のさらなる可能性を提起しました。会期中、原三溪市民研究会との連携事業としてアートギャラリー1で「もっと知ろう！原三溪—原三溪市民研究会10年の足跡—」を開催しました。会員の研究活動の成果を発表する機会であると同時に、会員と来場者が三溪について自由に語らう貴重な交流の場ともなりました。

主催：横浜美術館、日本経済新聞社
特別協力：公益財団法人三溪園保勝会、大和文華館、原三溪市民研究会
協力：あいおいニッセイ同和損保、みなとみらい線横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社
会期：令和1年7月13日(土)～9月1日(日)
 *毎週金土は20時まで夜間開館
開催日数：44日
観覧料：一般1,600円、大学・高校生1,200円、中学生600円
 小学生以下無料、65歳以上1,500円
入場者数：76,654人
出品作品数：191件
出展作家：66人
担当：柏木智雄、内山淳子、長谷川珠緒、日比野民蓉
カタログ：272頁
 発行：株式会社求龍堂
 編集：横浜美術館、株式会社求龍堂
 執筆：逢坂恵理子「序にかえて」
 古川攝一「大和文華館の原三溪コレクション」
 名見耶明「原三溪と古筆」
 水田至摩子「原三溪旧蔵の茶道具」
 北泉剛史「三溪の芸術性—庭園・建築・美術—」
 大野 敏「原三溪の建築—歴史的建造物の価値再生という視点から—」
 松嶋雅人「東京国立博物館の原三溪コレクション—近代日本画の購入経緯とその意義」
 柏木智雄「物我無二—原三溪の美術」
 内山淳子「原三溪とチャールズ・ラング・フリーアー—書簡に見る二人のコレクターの交流」
 猿渡紀代子「三溪・原富太郎とフランス—原輸出店の欧文カレンダーをめぐる—」



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物デザイン：野村勝久、岡田一星
 (株式会社野村デザイン制作室)

カタログデザイン：加藤勝也

撮影：加藤 健(p.10 ♡除く)



企画展3 オランジュリー美術館コレクション ルノワールとパリに恋した12人の画家たち

フランス国立オランジュリー美術館所蔵品の核をなす「ジャン・ヴァルテル&ポール・ギヨーム コレクション」のなかから、およそ半数にあたる絵画69点を展覧しました。

本展ではルノワールをハイライトに置き、シスレー、モネ、セザンヌ、ルソー、マティス、ピカソ、モディリアーニ、ヴァン・ドンゲン、ドラン、ローランサン、ユトリロ、スーティンからなる印象派とエコール・ド・パリの画家13人の創作を、作家ごとに辿りました。

また、コレクションの基礎を築いた画商ポール・ギヨームの活動や邸宅美術館構想についても、邸宅の模型や創刊した雑誌などの資料により紹介しました。会場内には、ポール・ギヨームと、彼の没後にコレクションを引き継いだ妻ドメニカが住み、それぞれの趣味に基づき絵画が飾られた邸宅の写真も掲出し、コレクション形成にまつわる物語にも迫りました。

会期中には、オランジュリー美術館学芸員のセシル・ジラルドー氏や仏文学者の鹿島茂氏による講演会をはじめ、さまざまな関連事業を展開。フランス近代美術の名品をまとめて鑑賞できる貴重な機会であることから、中高生無料招待日を設けたほか、ジュニア鑑賞ガイドを作成し、幅広い層に向けて来場を呼び掛けました。

- 主催**：横浜美術館、オルセー・オランジュリー美術館、読売新聞社、テレビ朝日
- 後援**：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本
- 協賛**：損保ジャパン日本興亜、大日本印刷、野村総合研究所、みずほ銀行
- 協力**：日本航空、ルフトハンザカーゴ AG、東急電鉄、みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社
- 会期**：令和1年9月21日(土) - 令和2年1月13日(月・祝)
 *12月26日(木)は開館、12月28日(土) - 1月2日(木)は年末年始で休館
 *毎週金土は20時まで夜間開館
 *9月27日(金)・28日(土)、1月10日(金)・11日(土)・12日(日)は21時まで夜間開館
 *10月12日(土)・13日(日)は台風19号の影響により臨時休館

開催日数：93日

観覧料：一般1,700円、大学・高校生1,200円、中学生700円、小学生以下無料、65歳以上1,600円

入場者数：223,878人

出品作品数：絵画69点、資料11点

出展作家：13人

担当：沼田英子、片多祐子、庄司尚子、金井真悠子

カタログ：196頁

発行：読売新聞東京本社、横浜美術館

編集：横浜美術館、読売新聞東京本社文化事業部

執筆：セシル・ジラルドー「オランジュリー美術館のコレクションとポール・ギヨーム」

沼田英子「ポール・ギヨームのコレクションにみるルノワールと20世紀美術」

片多祐子「ポール・ギヨームと〈ニグロ芸術〉：狂騒の時代を先駆ける」



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物デザイン：大溝 裕 (Glanz)

カタログデザイン：
 森重智子、吉崎 梢(美術出版社デザインセンター)
 制作：美術出版社デザインセンター

撮影：加藤 健 (p.12 ❖除く)



横浜美術館コレクション展 2019年4月13日(土) - 9月1日(日)

企画展「Meet the Collection—アートと人と、美術館」の全7章のうちの一部を、「横浜美術館コレクション展」として前・後期に分けて公開しました。前期(=Meet展と同会期)は、同企画展の第2部にあたる3つの章についてコレクション展を兼ねる形とし、後期(=原三溪展と同会期)は、Meet展のうちの5つの章について、一部展示替えのうえ、コレクション展として継続展示しました。

[前期] 平成31年4月13日(土)-令和1年6月23日(日)

展示構成(全3章)

- I イメージをつなぐ
- II モノからはじめる
- III ひろがる世界

[回廊&グランドギャラリー] 近現代の彫刻と工芸

[回廊] 特集:宮川香山

[後期] 令和1年7月13日(土)-9月1日(日)

展示構成(全5章)

- I いのちの木
- II まなざしの交差
- III あのとこ、ここで
- IV イメージをつなぐ
- V モノからはじめる

[回廊&グランドギャラリー] 近現代の彫刻と工芸

[回廊] 特集:宮川香山

会 期: 平成31年4月13日(土)-令和1年9月1日(日)
(前期:4月13日-6月23日/後期:7月13日-9月1日)
*5月2日(木・休)は開館、5月7日(火)は休館
*毎週金土は20時まで夜間開館

開催日数: 106日(前期62日/後期44日)

入場者数: 129,369人(前期43,950人/後期85,419人)

出品作品数: 前期149件/後期284件

出展作家: 前期67人(組)/後期110人(組)

担 当: 松永真太郎、木村絵理子、庄司尚子、大澤紗蓉子、江口みなみ



横浜美術館コレクション展 2019年9月21日(土) - 2020年1月13日(月・祝) 東西交流160年の諸相

横浜美術館開館30周年と横浜開港160周年という、ふたつの周年が重なる年であること、また、会期中に開館記念日を迎えることに鑑み、収集方針の核をなす「東」と「西」の文化の交わりをテーマに掲げました。

明治時代の書籍に掲載された太平洋の地図に、第二次世界大戦時の沈没船や戦闘機などの海底写真をかさねた柳幸典の作品《パシフィックーシャタード・ブルー》を序章に掲げることで、開港を経て太平洋戦争へとつづく歴史の負の側面も喚起しつつ、さまざまな東西交流の事例を紹介。時代・ジャンルともゆたかなバリエーションを誇るコレクションの特質を活かしながら、新収作品・資料をふんだんに盛り込み、30年にわたる作品収集の厚みが伝わる展示を目指しました。

関連イベントでは、篠原有司男の《ラブリー・ラブリー・アメリカ(ドリンク・モア)》に焦点を当て、気鋭の研究者によるスペシャル・レクチャーと、制作当時に作家が公開した方法にもとづき「イミテーション・アート」を実践するワークショップを市民のアトリエと協働で開催。東西交流の歴史的な展開を追うのみでなく、現代の芸術表現にとってアクチュアルな問題意識を示す作品に親しみ、理解を深める機会も設けました。

東西交流160年の諸相

序章 《パシフィックーシャタード・ブルー》

- 第1章 藤田嗣治と長谷川潔のバリ
- 第2章 ドイツのモダニズムと日本
- 第3章 多民族アメリカの「日系」たち
- 第4章 岡田謙三のユーゲニズム
- 第5章 アンフォルメルと具体
- 第6章 ネオタダ
- 第7章 横浜浮世絵と輸出工芸
- 第8章 下村観山の滞欧経験
- 第9章 木版画の日本
- 第10章 明治写真とニッポンの風景

[回廊] 特集：横浜の陶工一初代香山と三代良斎

[ホワイエ&グランドギャラリー] イサム・ノグチと近代彫刻

会 期: 令和1年9月21日(土) - 令和2年1月13日(月・祝)
 *12月26日(木)は開館、12月28日(土) - 1月2日(木)は年末年始で休館
 *毎週金土は20時まで夜間開館
 *9月27日(金)・28日(土)、1月10日(金)・11日(土)・12日(日)は21時まで夜間開館
 *10月12日(土)・13日(日)は台風19号の影響により臨時休館
 *10月22日(火・祝)、11月3日(日・祝)は無料

開催日数: 93日

入場者数: 227,545人

出品作品数: 336件(美術情報センター所蔵資料、関連資料など含む)

出展作家: 106人(共作は1名でカウント/作者不詳・撮影者不詳・関連資料類を除く)

担 当: 坂本恭子、松永真太郎、江口みなみ



広報印刷物デザイン: 峯石景子

撮影: 加藤 健 (p.16 ❖ 除く)

チラシ ([「ペリー展」]と共通のチラシ)



コレクションによる海外巡回展

Hanran: 20th-Century Japanese Photography (氾濫: 20世紀日本の写真)

本展は、ナショナル・ギャラリー・オブ・カナダと横浜美術館の共催により、横浜美術館の豊富な写真コレクションの中から209点を、国外で初めて一挙公開した展覧会です。本展は、「昭和の肖像—写真でたどる『昭和』の人と歴史」と題し、平成28(2016)年度に横浜美術館コレクション展(会期:平成29年1月4日-2月28日)で、平成30(2018)年度にアーツ前橋(会期:7月6日-9月3日)で開催した展覧会を、海外向けにタイトル・内容を更新し、巡回開催したものです。

60年余の長きにわたった「昭和」(1926~1989)という時代。関東大震災からの復興、第二次世界大戦、敗戦からの再びの復興、高度経済成長を経てバブル期へと続く、日本の歴史において最長、かつ最も大きく揺れ動いたこの時代は、無数の写真によってその「イメージ」が今日に伝えられています。本展では、昭和という時代そのものを映し出した風景・風俗写真や、著名人たちのポートレートを通して、今日の日本の社会構造と生活環境の基礎を形づくったこの「激動の時代」を振り返りました。また会期前から会期中にかけて、当館学芸員や日本学研究者のジャコブ・コヴァリオ教授によるレクチャーを実施、本展を通して20世紀の日本に対する理解が促進されることを目指しました。

[展示構成]

- 1 Urban Landscape of the 1930s and *Shinko Shashin*
- 2 Shadows of the War and Photojournalism
- 3 Japan's Defeat and Hiroshima and Nagasaki
- 4 Postwar Restoration and Photographic Realism
- 5 Snapshots from the Period of High Economic Growth
- 6 Conflict and the End of "Postwar"
- 7 New Directions *Are-Bure-Boke*, and *Kompura Shashin*



ポスター

Installation view, *Hanran: 20th-Century Japanese Photography*, 11 October 2019 to 22 March 2020, National Gallery of Canada, Ottawa. Photo: NGC

- 主催:** ナショナル・ギャラリー・オブ・カナダ、カナダ写真研究所ギャラリー
- 共催:** 横浜美術館
- 会場:** ナショナル・ギャラリー・オブ・カナダ、カナダ写真研究所ギャラリー
- 会期:** 令和1年10月11日(金)- 令和2年3月22日(日)
*3月14日(土)-22日(日)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
- 開催日数:** 129日
- 入場者数:** 34,561人
- 出品作品数:** 212点(横浜美術館コレクションおよび関連資料209点/貸出参照 pp.52-57、ナショナル・ギャラリー・オブ・カナダ所蔵資料3点)
- 出展作家:** 27人(コンタクトプリント・逐次刊行物は除く)
- 担当:** 帆足垂紀、木村絵理子、庄司尚子、相原佳奈子
- 公式ウェブマガジン:**
発行: ナショナル・ギャラリー・オブ・カナダ、カナダ写真研究所ギャラリー
執筆: 木村絵理子 "Japan in Transition: 20th-Century Photography from Kimura to Morimura"
- 関連事業:**
Meet the Expert
日時: 10月12日(土)
講師: 木村絵理子
参加人数: 約100人



ペリー艦隊随行画家・写真家による『日本遊記』の挿絵



絵でたどる
ペリー来航
Following the Path of Commodore Perry's Arrival through Images

ペリー来航1853年。開港場の幕開け。この展覧会は、ペリー艦隊の随行画家・写真家による『日本遊記』の挿絵を基に、ペリー来航の経路をたどります。江戸時代の風景、建物、人々の生活様式が、一枚一枚の挿絵を通じて再現されています。ペリー来航の歴史を、絵を通じて学びたい方におすすめの展覧会です。

絵でたどるペリー来航

小さな横浜村にペリー艦隊の一行が上陸した場面を描いた当館所蔵の油彩画《ペルリ提督横浜上陸の図》を中心に構成された本展は、教育普及グループの教育プロジェクトチームのエducatorにより企画されました。企画の背景には、学校連携事業の「横浜美術館コレクションを活用した授業のための中学校・美術館合同研究会」でこの作品について美術科、社会科の授業案が作成されたこと、また、ボランティアの街歩きプログラムでこの作品を紹介してきたこと等があり、同チームの調査や活動成果を組み込んだ展覧会となりました。

当時の絵画は、記録やイメージを伝える技術の中心にありました。また、写真はまだ誕生間もないメディアであり、石版画は出版文化と結びついた新しいメディアでした。

展覧会では、《ペルリ提督横浜上陸の図》をはじめ、ペリーが訪れた那覇、下田などの6つの場面を描いた水彩画、石版画、油彩画による作品を比較し展示すると共に、銀板写真（レプリカ）やアメリカ議会に報告書として提出された『ペリー艦隊日本遠征記』に用いられた石版画などの収蔵資料を展示しました。

関連事業として、ボランティアによるトーク「展覧会・ココがみどころ!」を全40回実施し、鑑賞の手引となる小冊子『絵でたどるペリー来航展—6つの場面についての記述』を配布、さらに石版画の刷りの公開デモンストレーション、外部講師を招いたスペシャル・レクチャーを実施しました。

主催: 横浜美術館
会場: アートギャラリー1
会期: 令和1年9月21日(土)-11月10日(日)
 *毎週金土は20時まで夜間開館
 *9月27日(金)・28日(土)は21時まで夜間開館
 *10月12日(土)・13日(日)は台風19号の影響により臨時休館
開催日数: 42日
観覧料: 無料
入場者数: 18,471人
出品作品数: 24件
出展作家: 3人
担当: 端山聡子、太田雅子、古藤 陽、関 淳一
小冊子: 23頁
発行: 横浜美術館
執筆: 端山聡子「絵でたどるペリー来航展—6つの場面についての記述」



小冊子

小冊子デザイン: 阿部太一 (TAICHI ABE DESIGN INC.)

広報印刷物デザイン: 峯石景子

撮影: 加藤 健



チラシ (「コレクション展」と共通のチラシ)

調査研究・普及活動(個人)

横浜美術館研究紀要

第21号, 2020年

80頁

発行日: 令和2年3月31日(火)

発行部数: 500部

掲載論文:

- ・中村尚明「【新出資料】イサム・ノグチと丹下健三による《広島のためのメモリアル》図面(ハーバード大学デザイン大学院フランス・レーブ・ライブラリー蔵)一彫刻家と建築家の真のコラボレーションの記録」
- ・日比谷安希子「横浜市所蔵カメラ・写真コレクションにおけるアメリカン・ダゲレオタイプについての考察」
- ・松永真太郎「横浜美術館所蔵の16ミリ映像作品について」
- ・金井真悠子「フランス・ペーコン《座像》研究ノート」



収藏品目録

収藏品目録2018年(平成30年度)

60頁

発行日: 令和2年3月31日(火)

発行部数: 500部



普及活動(個人)

◎執筆・寄稿

逢坂恵理子

- ・Phaidon's Contemporary Artists Series オノ・ヨーコ エッセイ, PHAIDON PRESS LIMITED

柏木智雄

- ・全国地方紙の読書面用に配信する「読書日和」, 共同通信社文化部
- ・「孤独のテオリア」『生誕100年国領経郎展—静寂なる砂の景—』美術館連絡協議会, 2020年1月
- ・「国際港湾都市・横浜の美術振興と美術館—その過去・現在・未来」『公立博物館の経営と指定管理者制度』同成社 ※2020年4月発売

沼田英子

- ・対談「ゆるかわアート万博 西洋美術編」『芸術新潮』新潮社, 2019年8月号
- ・「思い出の展覧会」『美連協ニュース144号』美術館連絡協議会, 2019年11月

八柳サエ

- ・「松井冬子の未来」松井冬子画集『FUYUKO MATSUI hair』株式会社松井冬子, 2019年9月
- ・「美術館の現場から一ひらかれた横浜美術館美術情報センターを目指して」『現代の図書館』第57巻3号特集「博物館・美術館の図書室をめぐって」, 公益財団法人日本図書館協会, 2020年1月

山崎 優

- ・「幼児期の造形活動について」『会報神私幼 vol.208』公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会, 2019年9月

木村絵理子

- ・「加藤泉: Like a Rolling Snow Balls」展レビュー『Real Tokyo』Real Japan 実行委員会, 2019年12月

片多祐子

- ・「スマホで覗くロダン《接吻》—武者小路実篤の『夢』から100余年」『文化資源学』第17号, 文化資源学会, 2019年6月

金井真悠子

- ・作品解説の英語から日本語への翻訳, 「日本・フィンランド外交関係樹立100周年記念 モダン・ウーマン=フィンランド美術を彩った女性芸術家たち」展図録, 独立行政法人国立美術館国立西洋美術館, 2019年6月

北川裕介

- ・横浜市芸術文化振興財団専門人材研修レポート, 学校法人瓜生山学園 京都造形芸術大学 アートコミュニケーション研究センター(ACOP), 1月20日ウェブサイト掲載

◎発表・講演会・シンポジウム

逢坂恵理子

- ・対談「川内有雄 空をゆく巨人」, BUKATSUDO, 4月23日(火)
- ・シンポジウム「国際博物館の日記念シンポジウム」スピーチおよびパネルディスカッション, ICOM 京都大会, 5月26日(日)
- ・鼎談「桐生の未来と美術館」大川美術館, 6月1日(土)

沼田英子

- ・対談「和田彩花 une 《femme》 peintre et une idole — “女” が表現すること」フェミニズム入門ブック『シモーヌ』Vol.2, 株式会社現代書館, 3月5日(木) ※2020年5月掲載

松永真太郎

- ・シンポジウム「美術館の『コレクション』を考える」ディスカッサント, M+ インターナショナル・森美術館共催, 9月25日(水)

襟川文恵

- ・横浜日経懇話会での講演, 横浜日経懇話会, 1月29日(水)

木村絵理子

- ・鼎談「金氏徹平×金島隆弘×木村絵理子」KYOTOGRAPHIE 2019 パブリックイベント,4月20日(土)
- ・鼎談「Open Storage 2019-2020 トークイベント、MASKの可能性をめぐって—作品をとりまく“制作・展示”とその後—」一般財団法人おさか創造千島財団,10月22日(火祝)
- ・対談「宇治野宗輝:アヴァーム ライツアップ」トークイベント, Art Center Ongoing,11月3日(日祝)
- ・鼎談「やんばるから見渡す、東アジアの芸術祭の事情」オープニングスペシャルトーク,「やんばるアートフェスティバル2019-2020」やんばるアートフェスティバル実行委員会,12月13日(金)

江口みなみ

- ・研究発表および討議「1950年代の日米美術交流に関する研究会」,聖徳大学,10月5日(土)

◎非常勤講師等**逢坂恵理子**

- ・「グローバル化と社会(文化交流)」科目におけるゲストスピーカー,桜美林大学町田キャンパス,7月15日(月祝)

柏木智雄

- ・神奈川大学「生涯学習・エクステンション講座」,前期
- ・慶應義塾大学「博物館経営論」,後期
- ・横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院「近代美術論」,前期
- ・横浜美術大学「美術保存Ⅰ・Ⅱ」,4月24日(水),12月4日(水)

八柳サエ

- ・法政大学「美術館の役割」,12月19日(木)

山崎 優

- ・神奈川県教育委員会,公立幼稚園・こども園新規採用教員研修,5月15日(水)
- ・神奈川県私立幼稚園連合会,中堅教諭対象講習会,5月22日(水),6月26日(水)
- ・茅ヶ崎市私立幼稚園連合会,研究部会及びオープン講座,6月28日(金),9月3日(火),12月2日(月)
- ・横浜市教育委員会小学校図工研夏季実技研修会,7月24日(水)
- ・横浜市小学校特別支援教育研究会実技研修会,8月21日(水)
- ・関東甲信越地区視覚障害教育研究会図工・美術部会,8月23日(金)
- ・和泉短期大学,「親子で楽しむ造形講座」,9月14日(土)
- ・横浜市特別支援学校教育研究会実技研修会,12月21日(土)

内山淳子

- ・上智大学「ヨーロッパの芸術と文化」,11月12日(火)

端山聡子

- ・多摩美術大学「生涯学習論R」「美術普及論」「五感を刺激するワークショップ実践」,通年
- ・NPO法人コロンプスアカデミー,第2回イソカツ美術展ワークショップ,1月9日(木)・18日(土)

木下貴博

- ・横浜美術大学美術学部美術・デザイン科,「彫刻表現Ⅲ、彫刻表現Ⅳ」,後期

襟川文恵

- ・横浜美術大学,保存修復コース「クリエイター・サバイバル論」講義(授

業内講義・技術指導者),①6月11日(火)②11月26日(火)

木村絵理子

- ・共立女子大学「博物館学概論」,後期

櫻庭瑠実

- ・東北生活文化大学「博物館実習Ⅰ」,11月15日(金)

坂本恭子

- ・文教大学「アート・マネジメント論(春学期集中講義)」ゲスト講師,8月21日(水)

江口みなみ

- ・横浜市立大学「教養ゼミ」および「芸術社会論」,通年

日比野民蓉

- ・慶應義塾大学「美術Ⅱ」,後期

関淳一

- ・NPO法人コロンプスアカデミー,第2回イソカツ美術展ワークショップ,2月27日(木)-3月3日(火)

◎委員・審査員等**逢坂恵理子**

- ・福岡市美術館収集審査委員
- ・公益財団法人鹿島美術財団理事
- ・金沢21世紀美術館美術品収集委員会委員
- ・京都市美術館協議会委員
- ・公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団理事

柏木智雄

- ・横須賀美術館運営評価委員
- ・横浜市文化観光局文化振興課,横浜文化賞選考委員会委員
- ・独立行政法人日本芸術文化振興会,芸術文化振興基金運営委員会美術専門委員会および文化施設展示活動専門委員会の専門委員
- ・独立行政法人日本芸術文化振興会,芸術文化振興基金運営委員会多分野共同等専門委員会の専門委員
- ・東京国立近代美術館美術作品購入等選考委員会委員

帆足亜紀

- ・小笠原科学技術振興財団新事業設立準備委員会委員
- ・せんだいメディアテーク「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」アドバイザー

沼田英子

- ・版画学会運営委員
- ・東京藝術大学美術学部杜の会「2019年度 杜の会賞」選考委員

八柳サエ

- ・アートミュージアム・アンヌアール実行委員会諮問委員,第21回図書館総合展併催の「アートミュージアム・アンヌアール」第2回展,開催に向けた提案や助言
- ・公益財団法人佐藤国際文化育英財団佐藤美術館奨学生選考委員
- ・川崎市立美術館美術品等選考評価委員会委員

関 淳一

- ・公益財団法人船橋市公園協会,アンデルセン公園子ども美術館運営審議委員

調査研究・普及活動（個人）

- ・神奈川県民共済生活協同組合、「第26回夏休みに描く絵画コンクール」審査員

松永真太郎

- ・東京都写真美術館作品資料収蔵委員会委員

端山聡子

- ・文化庁地域文化創生本部事務局伝統文化親子教室事業協力者会議委員
- ・藤沢市教育委員会文化芸術課、藤沢市アートスペース運営協議会委員

木村絵理子

- ・一般社団法人KYOTOGRAPHIE「KYOTOGRAPHIE 2019」ポートフォリオレビュー、レビューアー
- ・三菱地所プロパティマネジメント株式会社「アートアワードトーキョー丸の内2019」審査員
- ・アートによる文化交流推進実行委員会「公募：群馬県ゆかりのアーティストによる滞在制作事業」審査員
- ・広島市現代美術館「ゲンビどこでも企画公募2019」特別審査員
- ・有限会社エモン「9thEMON AWARD」審査員
- ・一般財団法人おおさか創造千島財団「MASK [MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA]」プロポーザル審査員
- ・ライオン株式会社「NONIO ART WAVE AWARD2020」審査員
- ・東京藝術大学美術学部油画科修了制作展講評
- ・東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了制作展講評

片多祐子

- ・町田市立国際版画美術館、奈良美智版画作品の価格評価

森 未祈

- ・学校法人写真学園東京総合写真専門学校評議員

◎その他

松永真太郎

- ・独立行政法人国際交流基金「アテネにおける日本現代美術展」2020年3月18日(水)-5月3日(日祝)、(於ビザンチン・クリスチャン美術館)キュレーター *展覧会は2020年7月に延期

襟川文恵

- ・フェリス女学院大学、「横浜学実習」ゲストスピーカー、1月6日(月)

端山聡子

- ・ミュージアムキッズ! 全国フェア 国立淡路青少年交流の家 運営指導 11月9日(土)・10日(日)
- ・多摩美術大学校友会事務局、トークショー「多様な人々とともにーアートでの社会包摂(ソーシャルインクルージョン)」登壇、12月1日(日)

◎受賞

- ・第31回倫雅美術奨励賞 美術評論部門(個人・片多祐子/「駒井哲郎一煌めく紙上の宇宙」展の企画及びカタログ中の論文)
- ・東大比較文学會 CatalTo2018 クロスジャンル賞(美術館/「駒井哲郎一煌めく紙上の宇宙」展カタログ)

美術情報センターの活動



原三溪展 特別資料展示 展示風景



原三溪展 特別資料展示 展示資料の一部



描かれたヨコハマ 特別資料展示 展示風景



展覧会カタログで振り返る横浜美術館の30年 展示風景



高校生1日研修&インターン・シップ施設見学



高校生1日研修&インターン・シップ実習風景

美術情報センターは、美術に関する図書資料、映像資料等を収集、整理、保存し、市民や研究者の利用に供することを目的としています。また、所蔵資料を活用し、コレクション展との連携を行っています。

開室時間：10:00～18:00（入室および各種利用受付17:30まで）

* 年末年始及び特別整理期間は休室

* 2月29日(土)-3月31日(火)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休室

収集・整理・保存・利用状況

収集実績

	購入	寄贈	合計
和書	49冊	993冊	1,042冊
洋書	16冊	64冊	80冊
和カタログ	7冊	1,829冊	1,836冊
洋カタログ	0冊	92冊	92冊
収集総数			3,050冊
蔵書総数			185,796冊
逐次刊行物	3,348タイトル		

利用状況

開室日数	279日
利用者数	42,068人
レファレンス	1,202件
閉架資料利用	2,974冊
コピー利用	576件
ビデオ利用	53件
マイクロ資料利用	2件

特別整理期間

期間：2月7日(金)-2月16日(日)

概要：閉架書庫2F和書9,874冊と閉架書庫3F所蔵品目録2,283冊と閉架書庫3F貴重書架677冊の点検を実施

所蔵資料貸出

美術情報センター外への所蔵資料貸出

*「美術品の収集、保存・修復、貸出」の貸出参照(pp.50-59)

●コレクション展「東西交流160年の諸相」

展示資料10点貸出

9月21日(土)-11月13日(月祝)

●絵でたどるペリー来航

展示資料1件3点貸出

9月21日(土)-11月10日(日)

資料展示・公開等

特別資料展示

●開館30周年記念

「ポスター、チラシ、チケットで振り返る横浜美術館開館記念展」

3月29日(金)-7月10日(水) 23点

●原三溪展連動企画

「『三溪画集』『余技』『三溪集』——原三溪自らの編著作物」

7月12日(金)-9月18日(水) 6点

●横浜美術館開館30周年記念 横浜開港

160周年記念「描かれたヨコハマ」

9月20日(金)-4月1日(水) 7点

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月29日(土)-4月1日(水)は休室

コレクション展関連資料コーナー

●Meet展関連資料コーナー

4月19日(金)-9月11日(水) 59点

●展覧会カタログで振り返る横浜美術館の30年

9月13日(金)-4月1日(水) 127点

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月29日(土)-4月1日(水)は休室

施設情報掲出

第21回図書館総合展

日時：11月12日(火)-11月14日(木)

会場：パシフィコ横浜 専門図書館協議会特設コーナー

活動紹介および見学会・研修受入れ

横浜市立高等学校生のための1日研修&インターン・シップ 美術図書室の達人になる!

横浜美術館美術情報センターで司書を体験してみませんか?

日時：2月15日(土) 13:30~17:00

参加人数：7人

※なお、本インターン・シップはボランティア

活動として実施しました。

教育普及事業

概要

横浜美術館の教育普及活動は、企画展やコレクション展に多角的な視点で関わる[鑑賞サポート]と、アトリエを中心に展開される[創作・造形プログラム]とを組み合わせ、特色ある事業を展開しています。また、学校教育や環境啓発・医療・福祉など、地域や社会と連携した取組みも積極的に行っています。

鑑賞サポートには、学芸グループによる企画展関連プログラムと、教育普及グループ「教育プロジェクト」によるコレクション展関連プログラムがあります。学芸グループは企画展における学芸員や多彩なゲスト、アーティストによる講演会やトーク、シンポジウムなどを開催し、「教育プロジェクト」は職員の持つ専門性を活かしたコレクション展ギャラリートーク、鑑賞ボランティアによる企画展鑑賞前のガイダンス、中高生を対象にした個人向けや学校向けのプログラムなど、市民協働の担い手の育成、学校教育や地域の福祉支援団体と連携し、美術館を市民生活に繋げる取組みを行っています。

「子どものアトリエ」は、小学校6年生(12歳)までの子どもを対象とし、主体性の獲得を目的にエドゥケーターによるさまざまな造形体験を提供しています。「プレイルーム」「クラフトルーム」「光と音のスタジオ」において、平日には幼稚園・保育園、小学校、特別支援学校などの教育機関と連携し造形や鑑賞の活動を行う「学校のためのプログラム」を、休日には個人を対象とした「親子のフリーゾーン」や「造形講座」を行っています。春と夏には「教師のためのワークショップ」を開催し、指導者への研修事業に取り組んでいます。

「市民のアトリエ」は、12歳以上を対象に、「つくる」プロセスを通して市民と作家、市民と市民が出合い、美術に親しむ場を提供しています。本格的な設備を有する「立体室」「平面室」「版画室」では、楽しくアートとふれあう講座から専門的な創作体験まで、幅広いワークショップを展開し、さらに各室を「オープンスタジオ」として開放し、市民の自主的な制作を支援しています。また、エドゥケーターと学芸員の連携により、展覧会に関する作品・作家、技法紹介など多彩なプログラムを企画し、より深い鑑賞へと誘います。

令和1年度の総括

横浜美術館開館30周年記念の3つの展覧会と9月に開幕した2つめのコレクション展に教育普及グループ3チームがさまざまな形で連携しました。Meet展では、学芸グループと「市民のアトリエ」「子どものアトリエ」が共同し、出品作家の浅井裕介氏と市民による共同制作が行われ、完成した作品がグランドギャラリーを彩りました。原三溪展、オランジュリー展においても、作家を講師に迎え、学芸員による解説を交えたプログラムを実施しました。つくる側からの視点と、研究の蓄積に裏付けされた解説に美術館の専門性が遺憾なく発揮されました。コレクション展「東西交流160年の諸相」の一部期間中に、「教育プロジェクト」は教育普及的視点にもとづく「絵でたどるペリー来航」展をアートギャラリー1で開催し、鑑賞ボランティアが見どころを紹介するなど、市民の活躍の場と交流がありました。今年度、教育プロジェクトに移管された「来館者案内」ボランティアが各展覧会の会期ごとに活躍しました。「子どものアトリエ」も引き続き病院へのアウトリーチなど企業協賛事業「Heart to Art」の活動に積極的に取り組み、30年の営みを継続しつつ、新たな連携事業を開拓する動きがみられました。



撮影：大塚敬大



撮影：加藤 健



撮影：加藤 健





撮影：加藤 健

企画展

◎ Meet 展

束芋 アーティストトーク

日時:5月18日(土) 14:00~15:30
 出演:束芋(本展ゲスト・アーティスト)
 聞き手:木村絵理子
 会場:レクチャーホール
 参加人数:145人

菅 木志雄 上映&トーク

日時:6月2日(日) 14:00~16:30
 出演:菅 木志雄(本展ゲスト・アーティスト)
 柏木智雄
 聞き手:松永真太郎
 会場:レクチャーホール
 参加人数:135人

ギャラリートーク

日時:5月4日(土祝),6月1日(土)
 14:00~14:30
 5月17日(金),6月21日(金)
 18:30~19:00
 担当:松永真太郎,大澤紗蓉子,木村絵理子
 庄司尚子
 会場:企画展展示室,グランドギャラリー
 参加人数:35人,30人,20人,70人

浅井裕介と市民による共同制作プロジェクト
 「美術館を耕す」

・小・中学生コース
 日時:4月27日(土) 10:30~15:30
 対象:小学校3年生~中学校3年生
 参加人数:33人
 ・15歳以上コース
 日時:4月28日(日) 10:30~15:30
 対象:15歳以上
 参加人数:31人
 講師:浅井裕介(本展ゲスト・アーティスト)
 アシスタント:
 岩瀬圭司,平塚知仁,東麻奈美,大塚敬太
 担当:柳川文秀,高德早矢香,大岩久美
 櫻庭瑠実,佐藤琢巳,木下貴博
 松永真太郎,木村絵理子,庄司尚子
 大澤紗蓉子,江口みなみ
 会場:グランドギャラリー,円形フォーラム
 参加費:100円

子ども向け鑑賞シート「ジュニアワークシート」

ウェブダウンロード公開:6月12日(水)

◎原三溪展

レクチャーと鼎談「三溪の古美術収集と美術家支援 一三溪史料研究の現在」

日時:7月20日(土) 14:00~16:00
 講師:清水 緑(渋谷区立松濤美術館学芸員/
 元三溪園学芸員)
 三上美和(京都造形芸術大学准教授/
 『原三溪と日本近代美術』著者)

聞き手:内山淳子
 会場:円形フォーラム
 参加人数:100人

講演会「三溪の茶と美」

日時:7月21日(日) 14:00~15:30
 講師:千宗屋(武者小路千家家元後嗣/美術史家)
 会場:レクチャーホール
 参加人数:202人

ギャラリートーク

日時:7月26日(金),8月16日(金)
 18:30~19:00
 8月12日(月休)・17日(土)
 14:00~14:30
 担当:日比野民蓉,長谷川珠緒,内山淳子
 会場:企画展展示室,グランドギャラリー
 参加人数:73人,85人,140人,130人

横浜美術館「原三溪の美術」展×横浜雙葉中学高等学校 茶道部 呈茶席

日時:8月10日(土) 11:00~16:00
 会場:グランドギャラリー
 協力:横浜雙葉中学高等学校茶道部
 参加人数:350人

鑑賞シート「ワークシート」

ウェブダウンロード公開:8月9日(金)

原三溪市民研究会連携事業 シンポジウム

「原三溪の漢詩の世界」

*市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業 市民協働 ボランティア 参照(p.41)

「抹茶茶碗創作 志野と黒織部にせまる」

*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(p.39)

「日本画の材料と技法にふれる」

*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(p.39)

◎オランジュリー展

記念講演会「オランジュリー美術館コレクションとポール・ギヨーム」

日時:9月21日(土) 14:00~15:30
 講師:セシル・ジラルドー(オランジュリー美術館文化財学芸員/本展覧会監修者)
 会場:レクチャーホール
 参加人数:172人

福間光太郎(ピアニスト)×学芸員
 スペシャルトーク

日時:10月18日(金) 18:00~19:00
 講師:福間光太郎(ピアニスト)
 聞き手:片多祐子
 会場:レクチャーホール
 参加人数:142人

学芸員によるギャラリートーク

日時:10月11日(金) 15:00~15:30
 11月22日(金) 18:30~19:00
 担当:金井真悠子,片多祐子,沼田英子
 庄司尚子
 会場:企画展展示室
 参加人数:75人,70人

学芸員によるミニレクチャー

日時:11月1日(金) 18:30~19:00
 12月20日(金) 15:00~15:30
 担当:片多祐子,沼田英子
 会場:レクチャーホール
 参加人数:50人,138人

講演会「ポール・ギヨーム:コレクターと画商」

日時:11月16日(土) 14:00~15:30
 講師:鹿島 茂(仏文学者/明治大学国際日本学部教授)
 会場:レクチャーホール
 参加人数:190人

オランジュリー美術館コレクション×吉野石膏コレクション担当学芸員クロストーク

日時:12月23日(月) 14:00~15:30
 登壇:岩瀬慧(三菱一号館美術館学芸員)
 片多祐子
 会場:レクチャーホール
 参加人数:100人

ジュニア鑑賞ガイド

発行:8月26日(月)
 発行部数:70,000部

講座「画家の話—桑久保徹とみるオランジュリー美術館コレクション」

*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(p.39)



Meet展 美術館を耕す



原三溪展 講演会



オレンジジュリー展 記念講演会



中高生プログラム



子ども探検隊



コレクション展 スペシャル・レクチャー

コレクション展

◎2019年4月13日(土)~9月1日(日)

ギャラリートーク

日時:(各金曜)7月26日,8月9日・23日
14:00~14:30

担当:江口みなみ,山崎 優,太田雅子

会場:コレクション展展示室

参加人数:10人,43人,43人

中高生プログラム2019

「美術を体験しよう!伝えよう!」

・美術を体験する編

日時:(各日曜)6月16日,7月7日・28日,
8月4日 10:00~14:00

・子ども探検隊 企画・準備編

日時:(各日曜)8月11日・18日 10:00~14:00

・子ども探検隊 本番

日時:8月25日(日)9:30~14:30

・まとめ

日時:9月8日(日)10:00~12:00

・番外編・記録誌編集委員会

日時:11月3日(日祝)10:00~12:00

11月24日(日)10:00~11:30

講師:7月7日(日)

齊藤佳代(鑑賞ファシリテーター)

7月28日(日)

浅井裕介(出品作家)

花崎 攝(演劇実践家・野口体操講師)

8月4日(日)土田ヒロミ(出品作家)

11月24日(日)森上 暁(NDCグラフィック

クス デザイナー)

担当:端山聡子,古藤 陽,森 未祈

会場:8階スクールスペース,企画展展示室

コレクション展展示室

※11月24日(日)のみNDCグラフィック

対象:中学生,高校生

参加費:500円

参加人数:15人,17人,18人,15人,18人,20人,
20人(本番参加者人数),14人,12
人,13人

美術を楽しむ!子ども探検隊2019

日時:8月25日(日)10:00~14:00

担当:端山聡子,古藤 陽

会場:8階スクールスペース

コレクション展展示室

対象:小学生4~6年生

参加費:無料

参加人数:26人

若者支援プログラム

K2インターナショナル利用者対象

「ちょっと気になる作品をディスクリプションしてみよう」

日時:6月5日(水)13:00~16:00

担当:関 淳一,北川裕介

会場:コレクション展展示室

8階スクールスペース

参加人数:20人

◎2019年9月21日(土)-2020年1月13日(月・祝)

スペシャル・レクチャー

「模倣というオリジナリティ:篠原有司男のイミテーション・アート」

日時:9月23日(月祝)14:00~15:30

講師:池上裕子(神戸大学国際文化学研究所
准教授)

会場:円形フォーラム

参加人数:23人

ギャラリートーク

日時:(各金曜)9月27日,10月11日・25日,11

月8日・22日,12月13日・27日,1月10日

14:00~14:30

9月28日(土)19:30~20:00

(各土曜)10月26日,11月16日,12月7日

18:30~19:00

担当:坂本恭子,端山聡子,森 未祈,櫻庭瑠実

関 淳一,古藤 陽,北川裕介,太田雅子

江口みなみ,松永真太郎

会場:コレクション展展示室

参加人数:(金曜)34人,23人,28人,29人,

15人,36人,36人,33人,

(土曜)10人,20人,10人,5人

アニバーサリー・ギャラリートーク

日時:11月4日(月休)15:00~15:45

担当:坂本恭子,江口みなみ,松永真太郎

会場:コレクション展展示室

参加人数:30人

市民のアトリエワークショップ

「篠原有司男の(複製絵画)をつくる」

*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関
連ワークショップ 参照(p.39)

特別支援学校のためのプログラム

本郷特別支援学校

日時:12月4日(水)10:15~11:15

担当:太田雅子,古藤 陽

会場:円形フォーラム

参加人数:14人

港南台ひの特別支援学校

日時:12月13日(金)10:20~12:00

担当:太田雅子,古藤 陽

会場:円形フォーラム

参加人数:20人

その他展覧会

◎ペリー展

スペシャル・レクチャー「ヴィジュアルイメージが伝えるペリーの日本遠征」

日時:11月2日(土) 14:00~16:00

講師:岡塚章子(東京都江戸東京博物館都市歴史研究室長)

嶋村元宏(神奈川県立歴史博物館主任学芸員)

端山聡子

会場:円形フォーラム

参加人数:72人

学芸員・エドゥケーターによるギャラリートーク

日時:(各水曜)10月16日・30日

14:00~14:30

担当:端山聡子,太田雅子

会場:アートギャラリー1

参加人数:17人,14人

デモンストレーション

「石版画ってどんな技法?」

日時:(各土曜)10月19日,11月9日

17:30~18:30

担当:関 淳一

会場:アートギャラリー1

参加人数:45人,46人

人材育成事業

◎横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会

日時:(各土曜)5月11日,10月26日

10:30~11:30

担当:関 淳一,太田雅子

会場:アートギャラリー2

参加人数:21人,13人

◎横浜美術館コレクションを活用した授業のための中学校・美術館合同研究会

日時:5月25日(土) 14:00~16:30

6月22日(土) 14:00~16:30

12月14日(土) 14:00~17:00

担当:関 淳一,太田雅子,端山聡子

会場:8階スクールスペース

参加人数:9人,12人,20人

ウェブガイドダウンロード公開 3月17日(火)

◎教師向け研修等

受入件数:6件

参加人数:570人

受入団体:横浜市小学校図画工作教育研究会(2件)

横浜市内中学校教育研究会美術科部会(2件)

神奈川県公立中学校教育研究会美術科部会

全国美術高校協議会



ペリー展 スペシャル・レクチャー



ペリー展 デモンストレーション



横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会



原三溪で横浜街歩き



ペリー展 展覧会・ココがみどころ!



ヨコビ探検隊

ボランティアによるサポート

◎個人向け

原三溪で横浜街歩き

ゆかりの地と美術を訪ねて

日時:6月21日(金)・23日(日) 10:30~12:10

担当:森 未祈,北川裕介,関 淳一

コース:みなとみらい線馬車道駅~日本大通り
~山下公園

参加人数:9人,12人

ボランティアトーク「展覧会・ココがみどころ！」 (ペリー展)

日時:(各火曜)10月8日・15日・22日・29日,
11月5日

(各日曜)10月20日・27日,

11月3日・10日

11月4日(月休)

11:00~11:15,11:30~11:45,

13:30~13:45,14:00~14:15

担当:古藤 陽,太田雅子,端山聡子

会場:アートギャラリー1

実施回数:40回

参加人数:延べ932人

◎外国人向け

独立行政法人国際協力機構「博物館とコミュニティ開発」コースの外国人研修生受け入れ

日時:10月5日(土) 10:00~16:00

担当:端山聡子,古藤 陽

会場:8階スクールスペース,アートギャラリー1
山下公園周辺

参加人数:13人

◎団体向け

ヨコビ探検隊「心の教育ふれあいコンサート」 参加児童のための美術館体験ツアー

日時:9月25日(水) 並木中央小学校

30日(月) 駒岡小学校

永谷小学校

10月1日(火) 中尾小学校

西本郷小学校

2日(水) 高舟台小学校

下野庭小学校

担当:関 淳一,北川裕介

会場:横浜美術館内(企画展展示室は除く)

対象:「心の教育ふれあいコンサート」に参加
する小学5年生

参加人数:52人,112人,84人,50人,86人,
95人,102人

子どものアトリエ

学校のためのプログラム

造形プログラム(73校) [幼稚園・保育園29園/小学校29校/特別支援・各種学校15校]

時間: 10:00~14:00

会場: 子どものアトリエ

担当: 柳川文秀, 高德早矢香, 大岩久美

年間参加者数: 4,658人

5月8日(水)	横浜市立川和小学校	85人	10月18日(金)	西区個別支援学級合同	105人
5月10日(金)	港南区個別支援学級合同	77人	10月23日(水)	日吉こども園	46人
5月14日(火)	横浜市立折本小学校	127人	10月29日(火)	横浜市立浜小学校	114人
5月15日(水)	YMCA山手台保育園アルク	23人	10月30日(水)	オハナ上永谷保育園	46人
5月17日(金)	横浜市立港南台第一小学校	99人	11月5日(火)	トキワ保育園	41人
5月21日(火)	本牧めぐみ幼稚園	52人	11月6日(水)	横浜市立大曽根小学校	152人
5月22日(水)	東京横浜独逸学園	52人	11月8日(金)	保土ヶ谷区個別支援学級合同	69人
5月24日(金)	アスク和田町保育園	14人	11月12日(火)	横浜市立茅ヶ崎小学校	126人
5月28日(火)	なかまちっこ園	49人	11月13日(水)	コンビプラザ金沢八景保育園	16人
5月29日(水)	横浜市立永谷小学校	87人	11月15日(金)	横浜市立岩崎小学校	64人
6月4日(火)	白峰保育園	22人	11月19日(火)	ベネッセ市ヶ尾駅前保育園	36人
6月5日(水)	横浜市立平戸台小学校	44人	11月20日(水)	聖坂養護学校	39人
6月11日(火)	矢向あけぼの保育園	28人	11月26日(火)	横浜市立東汲沢小学校	75人
6月14日(金)	戸塚区個別支援学級合同	102人	11月27日(水)	みらいく高田園	32人
6月18日(火)	屏風ヶ浦はるかぜ保育園・大岡はるかぜ保育園・ 上大岡はるかぜ保育園合同	45人	11月29日(金)	横浜市立瀬戸ヶ谷小学校	79人
6月19日(水)	横浜市立鴨志田緑小学校	67人	12月2日(月)	えみ保育園	44人
6月21日(金)	わかさと保育園	23人	12月3日(火)	東戸塚わんぱく園	50人
6月25日(火)	横浜市立阿久和小学校	31人	12月4日(水)	横浜市立権太坂小学校	86人
6月26日(水)	横浜朝鮮初級学校	64人	12月6日(金)	ゆめいろ保育園	29人
7月2日(火)	青葉幼稚園	50人	12月10日(火)	横浜市立岸谷小学校	156人
7月3日(水)	栄区個別支援学級合同	95人	12月11日(水)	瀬谷区個別支援学級合同	103人
7月5日(金)	横浜市立すすき野小学校	29人	1月14日(火)	潮田幼稚園	86人
7月9日(火)	横浜市立飯田北いちょう小学校	37人	1月15日(水)	横浜市立港南台ひの特別支援学校	48人
7月10日(水)	横浜みなとみらい保育園	79人	1月17日(金)	横浜市立東小学校	114人
7月12日(金)	横浜市立並木第一小学校	63人	1月21日(火)	横浜市立六つ川台小学校	10人
9月10日(火)	横浜市立いぶき野小学校	139人	1月22日(水)	わかば保育園	55人
9月11日(水)	横浜りとるばんびぎんず	46人	1月24日(金)	横浜市立中尾小学校	71人
9月13日(金)	横浜訓盲学院	39人	1月29日(水)	横浜市立本牧南小学校	71人
9月17日(火)	みなみひの保育園	38人	1月31日(金)	神奈川県立保土ヶ谷養護学校	58人
9月18日(水)	横浜市立南吉田小学校	127人	2月4日(火)	伸びる会幼稚園	37人
9月20日(金)	泉区個別支援学級合同	92人	2月5日(水)	横浜市立相沢小学校	55人
9月24日(火)	ベネッセ矢向保育園	29人	2月7日(金)	桜ヶ丘幼稚園	60人
9月25日(水)	横浜市立高舟台小学校	78人	2月12日(水)	アメリカ山徳育こども園	24人
10月8日(火)	横浜市立神奈川小学校	84人	2月14日(金)	横浜市立高田東小学校	64人
10月9日(水)	横浜市立東俣野特別支援学校	22人	2月18日(火)	横浜国立大学教育学部附属特別支援学校	28人
10月15日(火)	横浜市立白根小学校	109人	2月19日(水)	野毛山幼稚園	59人
10月16日(水)	戸部幼稚園	63人	2月25日(火)*	明徳釜利谷保育園	0人
			2月26日(水)*	横浜市立戸部小学校	0人



学校のためのプログラム



親子のフリーゾーン 撮影：加藤健



ガラスアート



みんなはファッションデザイナー



フェルトアート



花器をつくろう

親子のフリーゾーン

日時：日曜(月3回程度) 10:00~11:30

会場：子どものアトリエ

対象：小学生以下のお子さんとその保護者

参加費：小学生以下無料，保護者および中学生以上100円

年間参加者数：13,471人

4月7日(日)	484人	10月6日(日)	450人
4月14日(日)	437人	10月13日(日)*	0人
4月21日(日)	451人	10月20日(日)	410人
5月12日(日)	485人	11月3日(日)	484人
5月19日(日)	447人	11月10日(日)	423人
5月26日(日)	441人	11月17日(日)	481人
6月9日(日)	419人	12月1日(日)	443人
6月16日(日)	446人	12月8日(日)	432人
6月23日(日)	495人	12月15日(日)	408人
7月7日(日)	430人	1月12日(日)	433人
7月14日(日)	419人	1月19日(日)	423人
7月21日(日)	349人	1月26日(日)	388人
8月4日(日)	422人	2月2日(日)	353人
8月18日(日)	314人	2月9日(日)	351人
8月25日(日)	388人	2月16日(日)	347人
9月8日(日)	380人	3月1日(日)*	0人
9月15日(日)	421人	3月8日(日)*	0人
9月22日(日)	417人	3月15日(日)*	0人

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月25日(火)-3月31日(火)の学校のためプログラムおよび親子のフリーゾーンは中止

* 台風19号の影響により10月13日(日)の親子のフリーゾーンは中止

個人の造形・鑑賞講座

担当: 柳川文秀, 高德早矢香, 大岩久美
会場: 子どものアトリエ
年間参加者数: 1,125人

【造形プログラム】

◎わくわく日曜造形講座

4月 ガラスアート

日時:[3回] 4月7日・14日・21日
14:00~16:00
講師: 川崎和美(ガラス造形作家)
参加費: 5,000円
対象: 小学校4・5・6年生
参加人数: 21人/回

5月 木で車をつくろう

日時:[2回] 5月19日・26日
14:00~16:00
参加費: 3,000円
対象: 小学校1・2・3年生
参加人数: 20人/回

7月 発泡スチロールアート

日時:[3回] 7月7日・14日・21日
14:00~16:00
参加費: 4,500円
対象: 幼稚園・保育園の年長児
参加人数: 20人/回

10月 みんなはファッションデザイナー

日時:[3回] 10月6日・20日・27日
14:00~16:00
講師: 三ツ山一志(造形教育家)
参加費: 4,500円
対象: 幼稚園・保育園の年長児
参加人数: 22人/回

11月 焼きものでクリスマスの飾りをつくろう

日時:[3回] 11月3日・10日・17日
14:00~16:00
参加費: 4,500円
対象: 小学校1・2・3年生
参加人数: 20人/回

12月 フェルトアート

日時:[2回] 12月1日・8日
14:00~16:00
参加費: 3,000円
対象: 幼稚園・保育園の年長児
参加人数: 23人/回

1月 多色版画に挑戦

日時:[3回] 1月12日・19日・26日
14:00~16:00
参加費: 4,500円
対象: 小学校1・2・3年生
参加人数: 20人/回

2月 花器をつくろう

日時:[3回] 2月2日・9日・16日
14:00~16:00
参加費: 5,500円
対象: 小学校4・5・6年生
参加人数: 20人/回

3月 ちぎり絵アート

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
中止

◎夏休み造形講座

親子講座 いろんな楽器にさわってみよう!

「不思議な音の泉」
日時: 7月31日(水) 13:30~15:30
講師: 渡辺 亮(パーカッショニスト)
参加費: 親子2名で2,000円
(1人追加で+500円)
対象: 小学校1~6年生と保護者
参加人数: 61人

透ける絵の具でかこう

日時:[2回] 8月5日(月)・6日(火)
10:00~12:00
参加費: 3,000円
対象: 幼稚園・保育園の年長児
参加人数: 20人/回

親子講座「ぐるぐる実験室」

日時:[2回] 8月19日(月)・20日(火)
10:00~12:00
講師: 橋本典久(メディアアーティスト)
参加費: 親子2名で3,500円
(1人追加で+500円)
対象: 小学校4・5・6年生と保護者
参加人数: 36人/回

太陽で写真を写そう

日時:[2回] 8月26日(月)・27日(火)
10:00~12:00
担当: 櫻庭瑠実
参加費: 3,000円
対象: 小学校1・2・3年生
参加人数: 19人/回

◎わくわく1日造形講座

親子講座「ぐちゃぐちゃお絵かき」

日時: 6月9日(日) 14:00~16:00
参加費: 親子2名で2,000円
(1人追加で+500円)
対象: 幼稚園・保育園の年長児と保護者
参加人数: 46人

親子講座「こねこね土粘土」

日時: 6月16日(日) 14:00~16:00
参加費: 親子2名で2,000円
(1人追加で+500円)
対象: 幼稚園・保育園の年長児と保護者
参加人数: 53人

絵の具であそぼう

日時: 9月8日(日) 14:00~16:00
参加費: 1,500円
対象: 小学校1・2・3年生
参加人数: 34人

土粘土であそぼう

日時: 9月15日(日) 14:00~16:00
参加費: 1,500円
対象: 小学校1・2・3年生
参加人数: 30人

紙であそぼう

日時: 9月22日(日) 14:00~16:00
参加費: 1,500円
対象: 小学校1・2・3年生
参加人数: 35人

◎長期日曜造形講座

油絵クラブ

日時:[6回] 5月12日・19日・26日
6月9日・16日・23日 14:00~16:00
講師: 石井 健(造形講師)
参加費: 10,000円
対象: 小学校4・5・6年生
参加人数: 19人/回

日本画クラブ

日時:[6回] 11月3日・10日・17日
12月1日・8日・15日 14:00~16:30
担当: 山崎 優
参加費: 10,000円
対象: 小学校4・5・6年生
参加人数: 19人/回

◎展覧会関連ワークショップ

「Meet展」関連企画

浅井裕介と市民による共同制作プロジェクト
「美術館を耕す」

*鑑賞サポート 企画展 Meet展 参照(p.30)



親子講座「ぐるぐる実験室」



太陽で写真を写そう



親子講座「ぐちゃぐちゃお絵かき」



親子講座「こねこね土粘土」



油絵クラブ



教師のためのワークショップ

横浜市芸術文化教育プラットフォーム

*市民のアトリエ 横浜市芸術文化教育プラットフォーム 参照(p.39)

人材育成事業

教師のためのワークショップ

日時：夏期講座7月27日(土)・28日(日)

10:00~16:00

*春期講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

講師：三ツ山一志(造形教育家)

会場：子どものアトリエ

参加費：(夏期)1日6,000円, 両日12,000円

参加人数：80人,76人

保育士・教師を対象とした研修等

受入件数：6件

参加人数：326人

受入団体：神奈川県公立幼稚園・こども園

神奈川県私立幼稚園連合会(2件)

横浜市小学校図画工作研修夏季

実技研修会

小学校教諭対象・実技研修会

関東甲信越地区視覚障害教育研究会

募集リーフレット

横浜美術館 子どものアトリエプログラム『ピコラガイド』『親子のフリーゾーンガイド』の発行



市民のアトリエ

ワークショップ

◎アートとふれあう

版画基礎コース

日時:(各土曜) 各10:10~12:40
 Aコース [6回] 5月11日-6月15日
 Bコース [6回] 6月22日-7月27日
 Cコース [6回] 8月31日-10月5日
 Dコース [6回] 10月19日-11月23日
 Eコース [4回] 11月30日-12月21日
 Fコース [6回] 1月11日-2月15日
 Gコース [6回] 2月22日-3月28日
 *中止2月29日-3月28日

インストラクター:

岩淵華林(シルクスクリーン)
 所 彰宏(銅版画)
 山崎 慧(リトグラフ)

担当: 櫻庭瑠実

参加費: A・B・C・D・F・G=各16,000円
 E=10,000円

参加人数: A16人, B17人, C17人, D17人,
 E17人, F17人, G17人

小さなブロンズ作品づくり

日時:[4回] 各14:00~16:30
 Aコース (各土曜) 5月11日-6月1日
 Bコース (各火曜)
 6月18日, 7月9日・23日・30日
 Cコース (各火曜)
 8月6日・20日・27日, 9月3日
 Dコース (各土曜) 9月28日-10月26日
 *10月12日は台風19号の影響により10月19日に振替
 Eコース (各日曜) 10月27日-11月17日
 Fコース (各日曜) 12月1日-12月22日
 Gコース (各日曜) 1月12日-2月2日
 Hコース (各日曜) 3月1日-3月22日 *中止
 講師: 小林且典(彫刻家), 木下貴博
 参加費: 各9,000円
 参加人数: A8人, B8人, C9人, D8人, E8人,
 F8人, G8人

油彩画を描こう

日時:(各土曜) [7回]
 各14:00~16:30(最終日は15時まで)
 5月11日・18日・25日, 6月1日・8日・29日,
 7月13日
 講師: 東 麻奈美(画家)
 担当: 佐藤琢巳
 参加費: 21,000円
 参加人数: 15人

1日体験「銅版画」

日時: 5月19日(日) 10:30~16:00
 担当: 関 淳一, 櫻庭瑠実, 佐藤琢巳
 参加費: 3,500円
 参加人数: 15人

木彫「彫りながら木の中に入っていく」

日時:(各土曜) [8回] 各14:00~15:30
 6月8日・22日, 7月6日・20日, 8月10日・
 24日, 9月7日・21日
 講師: 高梨裕理(彫刻家)
 担当: 木下貴博
 参加費: 28,000円
 参加人数: 10人

1枚だけの版画「水彩モノタイプ」で作ろう!

日時:(各日曜) [2回]
 Aコース 6月23日・30日 10:30~12:30
 Bコース 9月22日・29日 13:30~15:30
 講師: 常田泰由(版画家)
 担当: 佐藤琢巳, 櫻庭瑠実
 参加費: 7,500円
 参加人数: A16人, B16人

1日体験「フォトグラム」

日時: 11月10日(日) 10:30~16:00
 担当: 櫻庭瑠実
 参加費: 3,500円
 参加人数: 8人

木彫「彫刻絵画・生活彫刻」

日時:(各土曜) [9回] 各13:30~16:00
 10月26日, 11月2日・9日・16日・30日,
 12月7日・14日・21日, 1月11日
 講師: 内堀麻美(彫刻絵画作家)
 担当: 木下貴博, 佐藤琢巳
 参加費: 25,000円
 参加人数: 15人

料紙装飾の世界ー引き染め、箔、継ぎ紙まで

日時:(各日曜) [4回] 各10:30~13:00
 1月26日, 2月9日・16日・23日
 講師: 藤井聡子(日本画家)
 担当: 櫻庭瑠実
 参加費: 15,000円
 参加人数: 15人

居間の思い出~日用品の思い出を摺りとして 版画作品を作ろう~

日時:(各日曜) [3回] 各14:00~16:00
 3月15日-29日 *中止

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
 2月29日(土)-3月31日(火)のワークショップは中止



小さなブロンズ作品づくり



油彩画を描こう



1日体験「銅版画」



木彫「彫りながら木の中に入っていく」



1日体験「フォトグラム」



料紙装飾の世界



横浜みどりアップ・ワークショップ



抹茶茶碗創作



画家の話し



〈複製絵画(イミテーション)〉をつくる



風景の写真集について



プラットフォーム鑑賞型授業(アニメーション)

◎令和1年度 横浜みどりアップ・ワークショップ

観察とスケッチで知る植物

日時:(各日曜) [2回] 各13:30~15:30

A.「初夏のコース」6月2日・16日

B.「秋のコース」10月6日・20日

講師:森 栄二(彫刻家)

担当:木下貴博

会場:各1回目=環境活動支援センター(保土ヶ谷区)

各2回目=市民のアトリエ, 展示室

参加人数:A15人, B18人

◎展覧会関連ワークショップ

「原三溪展」関連企画

「抹茶茶碗創作 志野と黒織部にせまる」

日時:[4回] 8月3日(土) 13:30~16:30

(各日曜) 8月4日・18日, 9月1日

14:00~16:00

講師:瀬戸毅己(陶芸家)

展示作品解説:内山淳子

担当:木下貴博

会場:市民のアトリエ, 展示室

参加費:15,000円

参加人数:15人

「日本画の材料と技法にふれる」

日時:8月24日(土) 10:30~15:30

講師:藤井聡子(日本画家)

展示作品解説:柏木智雄

担当:櫻庭瑠実

会場:市民のアトリエ, 展示室

参加費:3,800円

参加人数:16人

横浜市芸術文化教育プラットフォーム

美術分野等の芸術家による体験型授業

横浜市立永田台小学校

講師:三ツ山一志(造形教育家)

日時:9月20日(金), (各水曜) 10月16日・30日

担当:山崎 優

参加人数:27人, 27人, 27人

美術分野等の芸術家による鑑賞型授業

横浜市立高田小学校

講師:伊東純子(アーティスト)

日時:11月22日(金)

担当:柳川文秀, 高德早矢香, 大岩久美

参加人数:80人

横浜市立小田中学校

講師:林 孝輔(アニメーション美術監督)

日時:12月23日(月)

担当:森 未祈, 木下貴博

参加人数:125人

「オランジュリー展」関連企画

「画家の話—桑久保徹とみるオランジュリー美術館コレクション」

日時:11月23日(土祝) 15:30~17:30

講師:桑久保 徹(画家), 片多祐子

担当:森 未祈, 木下貴博

会場:市民のアトリエ, 展示室

参加費:2,500円

参加人数:21人

「コレクション展」関連企画

「篠原有司男の〈複製絵画〉をつくる」

日時:11月24日(日) 10:30~16:30

担当:森 未祈, 木下貴博, 櫻庭瑠実, 佐藤琢巳

坂本恭子

会場:市民のアトリエ, コレクション展展示室

参加費:5,000円

参加人数:12人

◎ライブラリー・トーク

「風景の写真集について」

日時:1月12日(日) 19:00~20:30

講師:鈴木理策(写真家)

担当:櫻庭瑠実, 森 未祈, 関 淳一, 八柳サエ

長谷川菜穂

会場:美術情報センター

参加費:1,000円

参加人数:34人

人材育成事業

横浜市立中・高等学校美術科研究会

「1版彫り進み版画によるグループ制作」

日時:8月2日(金)13:00~16:45

担当:櫻庭瑠実

参加人数:27人

市民のアトリエ

オープンスタジオ

◎オープンスタジオ立体室

担当：木下貴博
会場：市民のアトリエ立体室

テラコッタ

日時：[6回] 各13:30～16:00
各10:30～13:30(オプション)
Aコース (各水曜) 4月17日・24日,
5月8日・15日・22日, 6月19日
Bコース (各月曜) 6月10日・17日・24日,
7月1日・8日, 8月5日
Cコース (各月曜) 8月12日・19日・26日,
9月2日・9日, 10月7日
Dコース (各月曜) 10月21日・28日,
11月11日・18日・25日, 12月16日
Eコース (各火曜) 12月17日・24日,
1月7日・14日・21日, 2月18日
Fコース (各月曜) 2月3日・10日・17日
* 中止3月2日・9日・30日
参加費：各9,000円 オプション1回500円
参加人数：A12人, B12人, C12人, D13人,
E12人, F12人
オプション参加人数：247人

木の作品

日時：各13:30～16:00
各10:30～13:30(オプション)
Aコース (各火曜) [8回] 4月16日・23日・
30日, 5月14日・21日・28日,
6月4日・11日
Bコース (各水曜) [8回] 6月5日・12日・26日,
7月3日・10日・17日・24日・31日
Cコース (各火曜) [8回] 9月10日・10月29日
Dコース (各水曜) [6回] 11月6日・12月11日
Eコース (各水曜) [6回] 12月18日・25日,
1月8日・15日・22日・29日
Fコース (各土曜) [6回] 2月15日・3月21日
* 中止2月29日・3月21日
参加費：A・B・C各12,000円,
D・E・F各9,000円
オプション1回500円
参加人数：A14人, B12人, C12人, D12人,
E12人, F12人
オプション参加人数：177人

◎オープンスタジオ平面室

担当：佐藤琢巳, 森 未祈
会場：市民のアトリエ平面室

人体クロッキー

日時：各13:30～16:00
Aコース(ヌード) (各水曜) [6回]
5月8日-6月12日
Bコース(着衣) (各火曜) [6回]
5月21日-6月25日

Cコース(ヌード) (各水曜) [6回]
6月26日-7月31日
Dコース(着衣) (各水曜) [7回]
9月4日-10月16日
Eコース(ヌード) (各火曜) [7回]
9月17日-10月29日
Fコース(着衣) (各火曜) [6回]
11月5日-12月10日
Gコース(ヌード) (各水曜) [6回]
11月13日-12月18日
Hコース(着衣) (各水曜) [8回]
1月8日-2月26日
Iコース(ヌード) (各火曜) [8回]
1月28日-3月17日
* 中止3月3日-3月17日
参加費：A・B・C・F・G各8,400円,
D・E各9,800円, H・I各11,200円
参加人数：A20人, B20人, C20人, D20人,
E20人, F20人, G20人, H20人,
I20人

人体を描く

日時：[4回] 各13:30～16:00
Aコース(着衣) (各金曜) 6月21日・28日,
7月12日・19日
Bコース(ヌード) (各火曜) 7月16日-8月6日
Cコース(着衣) (各土曜) 9月21日-10月5日
* 10月12日は台風19号の影響
により中止[3回]
Dコース(着衣) (各金曜) 11月22日・29日,
12月13日・20日
Eコース(ヌード) (各土曜) 1月18日-2月8日
Fコース(着衣) (各土曜) 2月22日-3月14日
* 中止2月29日-3月14日
Gコース(ヌード) (各水曜) 3月4日-3月25日
* 中止
参加費：各6,000円
参加人数：A18人, B19人, C18人, D18人,
E18人, F18人

◎オープンスタジオ版画室

担当：櫻庭瑠実, 佐藤琢巳
会場：市民のアトリエ版画室
日時：
第1期 5月8日-7月27日(火・水・土)
* 5月14日・28日, 6月11日・25日,
7月9日は休み
(水) 10:10～16:30
(火・土) 14:00～16:30
第2期 8月31日-10月30日(火・水・土)
* 9月10日・24日, 10月8日・22日は
休み
* 10月12日は台風19号の影響により
中止
(水) 10:10～16:30
(火・土) 14:00～16:30
第3期 11月2日-12月21日(火・水・土)
* 11月12日・23日, 12月10日は休み
(水) 10:10～16:30
(火・土) 14:00～16:30
第4期 1月8日-3月28日(火・水・土)
* 1月21日, 2月4日・18日は休み
* 中止2月29日-3月28日
(水) 10:10～16:30
(火・土) 14:00～16:30
(暗室使用はすべて14:00～16:30)
インストラクター：
岩淵華林(シルクスクリーン)
所 彰宏(銅版画)
山崎 慧(リトグラフ)
参加費：(水) 利用 2,200円
(火・土) 利用 1,600円
暗室 1,600円
参加人数：第1期518人, 第2期394人,
第3期332人, 第4期332人
* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
2月29日(土)-3月31日(火)のオープンス
タジオは中止

募集リーフレット

横浜美術館 市民のアトリエプログラム『ワークショップガイド』の発行



市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業

市民協働



ボランティア活動風景(丹下健三)



ボランティア活動風景(来館者案内活動)



ボランティア活動風景(海外研修受入サポート)



シンポジウム「原三溪の漢詩の世界」



コレクション・フレンズ 交流会



コレクション・フレンズ ギャラリートーク

横浜市、学校、福祉関係機関、市民団体、ボランティア団体、NPO法人、企業などと協働し、美術館教育普及事業の活動を社会に広げます。特に、既存の市民団体、ボランティア団体の活動などとリンクさせることで、美術館の活動への支援を広げるよう努めています。また、横浜美術館コレクション・フレンズというユニークな個人参加型の芸術支援プログラムを通じ、参加者に横浜美術館コレクションを通して、より深く美術と親しむための特別プログラムを提供しています。

ボランティア

子どものアトリエ

「親子のフリーゾーン」ボランティア

活動期間：4月1日(月)-3月31日(火)

登録人数：39人

参加人数：延べ363人

美術情報センター1日ボランティア

*美術情報センターの活動 活動紹介および

見学会：研修受入れ 参照(p.25)

教育プロジェクトボランティア

活動期間：4月20日(土)-3月31日(火)

登録人数：81人

参加人数：延べ2,043人

主な活動内容

- ・勉強会 10回
- ・ヨコハマ・アートマップ 9回
- ・丹下健三 9回
- ・描かれた物語 9回
- ・展覧会・ココがみどころ! 40回
- ・来館者案内活動 52回
- ・中高生プログラムサポート 10回
- ・若者支援プログラムサポート 3回
- ・特別支援学校プログラムサポート 2回
- ・ヨコビ探検隊 7回
- ・海外研修受入サポート 1回

原三溪市民研究会との共同研究

定例会原則月1回、第2土曜日

岡谷・下諏訪研修ツアー

「製糸業のふるさと岡谷・下諏訪をめぐる～」

開催日：4月13日(土)

参加人数：24人

展示「もっと知ろう!原三溪一原三溪市民研究会10年の足跡」

会期：8月3日(土)-9月1日(日)

会場：アートギャラリー1

主催：原三溪市民研究会、横浜美術館

参加人数：延べ5,599人

シンポジウム「原三溪の漢詩の世界」

日時：8月10日(土) 14:00~16:00

講師：[基調講演] 鄧 捷(関東学院大学教授)

[フリートーク] 原三溪市民研究会・漢詩部会

主催：原三溪市民研究会、横浜美術館

会場：円形フォーラム

参加人数：165人

横浜美術館コレクション・フレンズ

12,000点を超える横浜美術館コレクションの継続的な修復や維持を目的として、平成22年にスタートした個人参加型の芸術支援プログラムです。参加者には、横浜美術館コレクションを通して、より深く美術と親しむための特別プログラムを提供しています。「横浜の宝」ともいえるコレクションをより良い状態で未来へ引き継いでいくための取組みは、これからますますの発展が期待されています。

参加費：一口10,000円 参加人数：194名(228口)

令和1年度の対象作品7点

- ・山村耕花(1885-1942)
《謡曲幻想 隅田川・田村》
- ・米田知子(1965年生まれ)
《教室I (遺体仮安置所をへて、震災資料室として使われていた)》
- ・田中敦子(1932-2005)
《作品67E》
- ・プラブハカール・ナイクサタム(1929-2020)
《気まぐれなささやき》
- ・アンリ・マティス(1869-1954)
《顔をかたむけたナディア》
- ・メダルド・ロツソ(1858-1928)
《ユダヤの少年》
- ・パウル・クレー(1879-1940)
《攻撃の物質、精神と象徴》

交流会(年2回開催)

日時：10月5日(土) 14:30~16:30
3月22日(日) 14:30~16:30は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
講師：坂本恭子
会場：レクチャーホール、ロティスリー・レイ
参加人数：82人

ギャラリートーク(年4回、8日開催)

日時：①5月15日(水)・18日(土)
②7月27日(土)・31日(水)
③11月16日(土)・20日(水)
④12月18日(水)・21日(土)
各11:00~12:00
講師：江口みなみ、大澤紗蓉子、松永真太郎、坂本恭子
会場：円形フォーラム
参加人数：27人・30人、32人・23人、33人・30人、37人・20人

募集リーフレット

横浜美術館『コレクションフレンズ2019』
募集パンフレットの発行



地域社会や市民生活に貢献する事業

美術館における教育普及事業を、地域社会や市民生活に貢献する事業に発展させていきます。学校教育連携事業、アウトリーチ、人材育成事業、環境啓発事業等を行っています。

アウトリーチ事業等

アウトリーチ

日時:7月17日(水),10月11日(金)
担当:柳川文秀,高德早矢香,大岩久美
会場:横浜医療福祉センター港南
横浜市立大学付属病院小児科病棟
参加人数:99人,36人

若者支援プログラム

「抽象表現ってよくわからない?」
日時:11月19日(火) 13:00~15:00
担当:関 淳一,北川裕介
会場:K2インターナショナルよこはま南部
ユースプラザ
参加人数:10人

「美術館をナナメからみよう」

日時:12月18日(水) 14:00~16:30
担当:関 淳一,端山聡子,北川裕介
会場:8階スクールスペース
参加人数:17人

横浜国立大学連携

老人ホーム訪問ワークショップ
横浜国立大学教育人間科学部授業(教育学部
小池研二教授)との連携
日時:12月5日(木) 14:00~15:00
講師:川口恵里(アニメーション作家)
担当:木下貴博,森 未祈
会場:戸部ハマノ愛生園
参加人数:10人
*11月29日(金)に、横浜美術館で事前研修を
実施

環境啓発事業

令和1年度横浜みどりアップ・ワークショップ
*市民のアトリエ ワークショップ 参照(p.39)

横浜美術館法人向け芸術支援プログラム

Heart to Art参加企業特典
●日産自動車×横浜美術館
子どもの造形ワークショップ
「木のクルマを作って遊ぼう!」
日時:8月3日(土)・10日(土) 11:00~16:00
担当:柳川文秀,高德早矢香,大岩久美
会場:日産グローバル本社ギャラリー内
参加人数:56人,67人

●神奈川県立こども医療センター

日時:10月1日(火) 10:00~11:20
担当:柳川文秀,高德早矢香,大岩久美
会場:神奈川県立こども医療センター
参加人数:40人

●横浜ランゲージ・ハウス幼稚部

日時:10月21日(月) 10:00~11:30
担当:柳川文秀,高德早矢香,大岩久美
会場:横浜ランゲージ・ハウス
参加人数:29人

●やまゆり中山保育園

日時:11月1日(金) 10:00~11:30
担当:柳川文秀,高德早矢香,大岩久美
会場:やまゆり中山保育園
参加人数:38人

人材育成等

◎博物館実習

活動期間:7月29日(月)-31日(水)
8月5日(月)-7日(水)
担当:内山淳子,木村絵理子,日比野民蓉
会場:美術館内
参加費:5,000円
登録人数:8人
参加大学:東京工芸大学
学習院大学
武蔵野美術大学
工学院大学
明治学院大学
同志社大学
青山学院大学
筑波大学

◎インターンシップ

子どものアトリエ

●インターン
活動期間:4月1日(月)-3月31日(火)
登録人数:5人
参加人数:延べ121人

●城西国際大学インターン

活動期間:8月3日(土)-6日(火)
18日(日)-20日(火)
登録人数:8人
参加人数:延べ32人

海外インターンシップの受入

*鑑賞サポート ボランティアによるサポート
外国人向け 参照(p.33)

◎子どものアトリエ

教師のためのワークショップ

*子どものアトリエ 人材育成事業 参照(p.37)

美術品の収集、保存・修復、貸出

収集

美術資料収集方針

横浜美術館では、次のような方針に基づき作品を収集しています。(令和2年3月現在12,768件所蔵)

- 1 西洋文化の流入窓口であった横浜開港当時からヨーロッパ近代美術と日本近代美術の相互影響の足跡がたどれる作品
- 2 (1) 現代美術の展開と流れの鳥瞰に役立つ作品
(2) 今日の美術が内包する問題点を明確に表している作品
(3) 近代美術の一分野としての写真の代表作品
(4) 現代の市民生活に密着した分野(デザイン、工芸、建築、ビデオ)の代表作品
- 3 横浜ゆかりの代表的作家の作品
(1) 岡倉天心との関係を含めて、原三溪に庇護された、日本近代美術の発展に寄与した作家の作品
(2) その他、横浜ゆかりの代表的作家の作品
- 4 以上の美術に関連する資料

収集実績

分野別作品収集件数 令和1年度末累計：() 内が1年度収集点数

	日本画	油彩画 (日本洋画・西洋画)	版画	水彩・素描	彫刻・立体	工芸	写真・映像	作品外資料*	合計
購入	164 (0)	199 (0)	1,614 (0)	63 (0)	47 (0)	82 (0)	3,206 (1)	0 (0)	5,375 (1)
寄贈	751 (1)	319 (1)	1,900 (167)	1,734 (29)	64 (3)	101 (4)	1,083 (7)	1,441 (118)	7,393 (330)
合計	915 (1)	518 (1)	3,514 (167)	1,797 (29)	111 (3)	183 (4)	4,289 (8)	1,441 (118)	12,768 (331)

*「作品外資料」とは、美術作品そのものではなく、例えば、書簡のように画家・作家の足跡、交友関係がたどれる資料や、作品の制作に使用した道具のよう、制作の背景を明らかにする資料です。(「横浜市美術資料収集方針」の4、「第1項から第3項に関連する資料」に該当します。)

*上記点数に寄託作品は含まれません。

令和1年度の主な収集作品

作家	作品名
藤井健司	彼南模様
エマ・ポーマン	ドナウ河の水浴
アルブレヒト・デュラー	騎士と死と悪魔
大下藤次郎	新緑の穂高岳
ピュ〜びる	純白
小野寺玄	炭化象嵌花生「花火」
北角玄三	甘藍
束芋	あいたいせいじょせい

*今年度の全収集作品については、「横浜美術館収蔵品目録」(令和3年3月発行予定)を参照



エマ・ポーマン《ドナウ河の水浴》
1922年頃/多色木版
ヘドウィク・シュレック氏寄贈



束芋《あいたいせいじょせい》(展示風景)
2015年/シングル・チャンネル映像インスタレーション、5分33秒ループ
©Tabaimo / Courtesy of Gallery Koyanagi
撮影：加倉井和人



小野寺玄《炭化象嵌花生「花火」》
2000年/象嵌、陶器
小野寺淳子氏寄贈

保存・修復

分野	作家名	作品名	収蔵品番号	修復内容	
日本画	中島千波	《窓》	91-JP-008	額の変更	
日本洋画	白髪一雄	《梁山泊》	84-OJ-022	画面の埃除去、額の補修	
	福沢一郎	《メキシコの人物》	85-OJ-025	絵具の剥離止め	
	渡辺幽香	《幼児図》	88-OJ-073	画面および額縁の絵具の剥離止め	
	國領経郎	《静止の空間》	84-OJ-020	額と作品の再固定、裏面の保護処置	
		《ヨットハーバー》	85-OJ-012*	額と作品の再固定、裏面の保護処置	
版画	山岸主計	《サンフランシスコ・ウインドミル（「世界百景」より）》	2017-PRJ-040	マット装	
		《カナダインディアンのとてむボール（「世界百景」より）》	2017-PRJ-041	マット装	
		《インディアンダンス（「世界百景」より）》	2017-PRJ-042	マット装	
		《グランドキャニオン（「世界百景」より）》	2017-PRJ-043	マット装	
		《グランドキャニオン（「世界百景」より）》	2017-PRJ-044	マット装	
		《ローマ郊外の群羊（「世界百景」より）》	2017-PRJ-045	マット装	
		《小便小僧（「世界百景」より）》	2017-PRJ-046	マット装	
	歌川国芳	《横浜本町之図》	2018-PRJ-002	マット装	
	歌川貞秀	《神奈川県御貿易場御開地御役屋敷并町々寺院社地に至る迄明細大絵図にあらわす》	2018-PRJ-003	マット装	
		《横浜本町景港崎街新廓》	2018-PRJ-005	マット装	
		《題名不詳（玉板油絵 大胡弓 笛 二線）》	2018-PRJ-006	マット装	
		《神奈川横浜港案内図絵》	2018-PRJ-008	マット装	
		《横浜商館真図》	2018-PRJ-011	マット装	
		《横浜英商遊行》	2018-PRJ-012	マット装	
		《横浜鈍宅之図》	2018-PRJ-013	マット装	
		《五箇国人物行歩図》	2018-PRJ-015	マット装	
		《横浜交易西洋人荷物運送之図》	2018-PRJ-016	マット装	
		《横浜異人商館之図》	2018-PRJ-017	マット装	
		《横浜海岸之風景》	2018-PRJ-019	マット装	
	歌川広重(二代)	《亜墨利加 仏蘭西 南京》	2018-PRJ-022	マット装	
		《横浜高台英役館之全図》	2018-PRJ-023	マット装	
	歌川広重(三代)	《横浜新理地高嶋町揚屋三階造海岸遠景之図》	2018-PRJ-027	マット装	
		《横浜海岸鉄道蒸気車図》	2018-PRJ-028	マット装	
		《横浜波止場より海岸通異人館之真図》	2018-PRJ-031	マット装	
	歌川芳幾	《題名不詳（いこくことば あめりか）》	2018-PRJ-032	マット装	
	歌川芳員	《横浜見物図会》	2018-PRJ-033	マット装	
		《異国人酒宴遊楽之図》	2018-PRJ-034	マット装	
		《外国人どんたく遊らん行歩乃図》	2018-PRJ-037	マット装	
		《仏蘭西国（文：仮名垣魯文）》	2018-PRJ-038	マット装	
		《横浜名所并天 亜墨利加人》	2018-PRJ-039	マット装	
		《五国異人横浜上陸図》	2018-PRJ-040	マット装	
		《題名不詳（外国人横浜において曲馬并に軽業をなして…）》	2018-PRJ-041	マット装	
		《横浜異人館之図》	2018-PRJ-042	マット装	
		歌川芳富	《異人遊興図》	2018-PRJ-044	マット装
		歌川芳豊	《フランス人遊興》	2018-PRJ-045	マット装
	歌川芳虎	《中天竺舶来之かるわざ横浜の地に於いて興行之図》	2018-PRJ-046	マット装	
		《亜墨利加国》	2018-PRJ-047	マット装	
		《横浜一覽之図》	2018-PRJ-048	マット装	

分野	作家名	作品名	収蔵品番号	修復内容
	昇斎一景	《汐留より蒸気車通行の図》	2018-PRJ-073	マット装
	楊洲周延	《梅園唱歌図》	2018-PRJ-076	マット装
		《小学唱歌之略図》	2018-PRJ-077	マット装
	フランク・ブラングイン	《ヘギン修道会、プリュージュ》	2003-PRF-022	マット装
		《サン・パテルニナ橋、ヴェニス》	2003-PRF-023	マット装
	ロバート・ブライデン	《ブライデン作『19世紀文学者肖像木版画集』(12点組)扉》	2003-PRF-024	マット装
		《ヴィクトル・ユーゴ像『19世紀文学者肖像木版画集』所収》	2003-PRF-027	マット装
		《トルストイ像『19世紀文学者肖像木版画集』所収》	2003-PRF-028	マット装
		《ラスキン像『19世紀文学者肖像木版画集』所収》	2003-PRF-032	マット装
		《ウィリアム・モリス像『19世紀文学者肖像木版画集』所収》	2003-PRF-033	マット装
		《ロバート・ルイス・ステイーヴンソン像『19世紀文学者肖像木版画集』所収》	2003-PRF-034	マット装
		《詩人 アルフレッド・テニスン像『19世紀文学者肖像木版画集』所収》	2003-PRF-035	マット装
	ジャン=バティスト・カミーユ コロー	《風景》	2003-PRF-041	マット装
		《農婦》	2003-PRF-042	マット装
		《船頭》	2003-PRF-043	マット装
	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ ルシエンテス	《感じ易かったがために「ロス・カプリチオス」32》	2003-PRF-089	マット装
	ジャン=ジャック・エンネル	《クリオール》	2003-PRF-097	マット装
	ダニエル・ホファー	《猫師たち》	2003-PRF-099	マット装
	ジョージ・イネス(原画)	《サコ川渓谷》	2003-PRF-101	マット装
	シャルル=エミール・ジャック	《題名不詳[農婦]》	2003-PRF-278	マット装
		《農場の中》	2003-PRF-279	マット装
	ジョンソン(原画) ジョン・ゴルダー(刻)	《デンマークのアン、ジェームズ1世の王妃》	2003-PRF-280	マット装
	エドゥアルト・クルスバウ アー(原画)	《ワイン・テイスター》	2003-PRF-283	マット装
	ジュリアス・J. ランクス	《題名不詳[家]》	2003-PRF-285	マット装
		《題名不詳[読書する老人]》	2003-PRF-286	マット装
		《題名不詳[鋤を担ぐ農夫]》	2003-PRF-287	マット装
	フィリッピーノ・リッピ(原画)	《聖ベルナルドゥスの前に現れる聖母マリア(フィリッピーノ・リッピの原画による)》	2003-PRF-292	マット装
	クロード・ロラン(原画)	《「ミュージアム・クロード」パート3、表紙》	2003-PRF-294	マット装
	フレデリック・クリスチャン・ ルイス(刻)	《「ミュージアム・クロード」パート3、No.4》	2003-PRF-298	マット装
		《「ミュージアム・クロード」パート3、No.6》	2003-PRF-299	マット装
		《「ミュージアム・クロード」パート3、No.7》	2003-PRF-300	マット装
		《「ミュージアム・クロード」パート3、No.16》	2003-PRF-306	マット装
		《「ミュージアム・クロード」パート3、No.20》	2003-PRF-309	マット装
		《「ミュージアム・クロード」パート3、No.21》	2003-PRF-310	マット装
		《「ミュージアム・クロード」パート3、No.24》	2003-PRF-312	マット装
		《「ミュージアム・クロード」パート4、表紙》	2003-PRF-315	マット装
		《「ミュージアム・クロード」パート4、No.5》	2003-PRF-318	マット装
		《「ミュージアム・クロード」パート4、No.13》	2003-PRF-326	マット装
		《「ミュージアム・クロード」パート4、No.25》	2003-PRF-334	マット装

保存・修復

分野	作家名	作品名	収蔵品番号	修復内容
版画	クロード・ロラン(原画) フレデリック・クリスチャン・ ルイス(刻)	《[ミュージアム・クロード]パート4、No.30》	2003-PRF-337	マット装
	サンドロ・ボッティチェリ (原画) レオポルト・フラメンク(刻)	《若者の肖像》	2003-PRF-342	マット装
	アンリ・マティス	《前髪をおろした顔》	2003-PRF-345	マット装
	ピーター・モラン	《若い口バ》	2003-PRF-349	マット装
	ポール・アドルフ・ラジョン (刻)	《武装した騎士(伝ジョルジョーネの原画に よる)》	2003-PRF-359	マット装
	レンブラント・ファン・レイン (原画)	《額縁の中の少女》	2003-PRF-362	マット装
	ウィリアム・セルツァー・ラ イス	《ローテンブルクの小路》	2003-PRF-364	マット装
	スヴェン・バージャー・サン ゼン	《ロッキー山脈の中心》	2003-PRF-372	マット装
	ジョシュア・レノルズ(原画)	《天使達、イザベラ・ケール・ゴードン夫人 の五つの頭部》	2003-PRF-398	マット装
	アンソニー・ウォーターロー	《水車》	2003-PRF-399	マット装
	ルドヴィヒ・フォン・ホフマン	《アダムとエヴァ》	2011-PRF-016	マット装
	ヴォルフ・トラウト	《マリアに別れを告げるキリスト》	2011-PRF-031	マット装
	ポール・アドルフ・ラジョン (刻)	《婦人の肖像(フォックス夫人、伝ジョシュ ア・レノルズの原画による)》	2011-PRF-032	マット装
	カミーユ・ピサロ	《放浪者》	92-PRF-090	画面のシミ除去
	ピエール＝オーギュスト・ル ノワール	《若い女性の胸像》	92-PRF-101	画面のシミ除去
	ジェームズ・アボット・マク ニール・ホイッスラー	《暴風雨》	92-PRF-111	画面のシミ除去
	アルノルト・ベックリン(原画)	《海の物語》	2003-PRF-010	画面のシミ除去、マット装
	シャルル＝フランソワ・ドー ビニー	《葡萄の収穫》	2003-PRF-050	画面のシミ除去、マット装
	ジョン・マーティン	《サタンに対するイシュリエルとゼボン、 ジョン・ミルトン『失楽園』の挿絵》	2003-PRF-341	画面のシミ除去、マット装
	フェリシアン・ロップス	《レクサノール・ビダニューエル著『ミレー、ハ ルピソンの思いで』表紙》	2003-PRF-366	画面のシミ除去、マット装
		《題名不詳[3人の人物]》	2003-PRF-367	画面のシミ除去、マット装
		《題名不詳[女性像]》	2003-PRF-369	画面のシミ除去、マット装
	ジョン・ラスキン	《サンタ・マリア・テル・ピアント広場、ローマ》	2003-PRF-371	画面のシミ除去
	フランツ・フォン・シュトゥッ ク	《ファウヌスの戦い》	2003-PRF-391	画面のシミ除去、マット装
		《魔王(明けの明星)》	2003-PRF-392	画面のシミ・付着物除去、マット装
	ハインリヒ・フォーゲラー	《落葉松》	2003-PRF-397	画面のシミ除去、マット装
	作者不詳	《ジェーン・シーモア像(ハンス・ホルバイン [子]の原画による)》	2003-PRF-411	画面のシミ除去、マット装
	作者不詳	《羊飼の礼拝》	2003-PRF-414	画面のシミ除去、マット装
	エミール・オルリック	《日本の手品師》	92-PRF-036	ヒンジおよびコーナーの再固着
	ポール・ジャクレ	《アンスリウムの花束、パラオ諸島アンガウ ル島》	97-PRF-001	ヒンジおよびコーナーの再固着
		《メナドの男とマンガスチン、セレベス島(果 物の組の内)》	2003-PRF-116	ヒンジの再固着
		《中国の人形》	2003-PRF-119	ヒンジの再固着

分野	作家名	作品名	収藏品番号	修復内容
		《朝鮮の男3人、ソウル》	2003-PRF-128	ヒンジの再固着
水彩・素描	ギュスターヴ・モロー	《岩の上の女神》	83-DRF-011	額縁の箔付き箇所固定、補彩
彫刻・立体	ジョゼフ・コーネル	《ソープ・バブル・セット：コペルニクスの体系》	86-SF-003	作品内部の塗料剥離の再固定、補彩
写真・映像	金村 修	《Keihin Machine Soul》	97-PHJ-019	波うち押さえ
		《Keihin Machine Soul》	97-PHJ-020	波うち押さえ
		《Keihin Machine Soul》	97-PHJ-021	波うち押さえ
		《Keihin Machine Soul》	97-PHJ-022	波うち押さえ
		《Keihin Machine Soul》	97-PHJ-023	波うち押さえ
		《Keihin Machine Soul》	97-PHJ-024	波うち押さえ
	森村泰昌	《セルフポートレート（女優）：ハラ・セツコとしての私》	97-PHJ-026	裏面の保護処置、画面用コルゲートカバー作成
	日下部金兵衛（推定）	《鳥居、宮島、内海》	2018-PHJ-022	マット装
	河野浅八	《静寂》	2018-PHJ-024	マット装
		《無益な猛り》	2018-PHJ-025	マット装
	玉村康三郎（推定）	《大阪の通り》	2018-PHJ-027	マット装
		《藤の花、東京》	2018-PHJ-029	マット装
		《中禅寺湖》	2018-PHJ-030	マット装
		《中禅寺への道、日光より》	2018-PHJ-031	マット装
		《菖蒲の花、東京》	2018-PHJ-035	マット装
		《道、宮ノ下》	2018-PHJ-040	マット装
		《木質》	2018-PHJ-041	マット装
	ヒデハル・フクヤマ	《富士山、東海道より》	2018-PHJ-055	マット装
		《ミルク瓶のふた》	2018-PHF-003	マット装
	撮影者不詳	《題名不詳》	2018-PHF-004	マット装
		《仏塔と石の鳥居、日光》	2018-PH-001	マット装
		《題名不詳（江ノ島）》	2018-PH-017	マット装
	クリスチャン・ボルタンス キー	《不老島、松島》	2018-PH-026	マット装
		《シャス高校の祭壇》	92-PHF-001	クリップライト(12個)の変更 キー

貸出

貸出件数・点数

貸出先総件数：25件(うち海外2件)

貸出総作品数：397点(うち2点は寄託作品、13点は美術情報センター所蔵資料)

貸出実績

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品・資料名*・収蔵品番号**
「トロンプレイユの現在(いま)2019」 横浜本牧絵画館 平成31年4月20日(土)-令和1年7月21日(日)	岩田榮吉	《赤いカーテン(トロンプレイユ)》
「画集刊行記念『中島千波作品集—こんな絵を描いてきました—』 中島千波のあゆみ展」 おふせミュージアム・中島千波館 令和1年 5月10日(金)-7月9日(火)	中島千波	《衆生・働》
「富山テレビ放送開局50周年記念・富山県水墨美術館開館20周年記念 美を謳う 中島千波の世界」 富山県水墨美術館 令和1年 5月23日(木)-7月7日(日)	中島千波	《窓》
「クローバーシアター 大野松雄 音の世界 vol.2 with トニー・コンラッド」(上映イベント) 同志社大学寒梅館クローバーホール 令和1年6月11日(火)	トニー・コンラッド	《フリッカー》(美術情報センター所蔵)
「国立西洋美術館開館60周年記念 松方コレクション展」 国立西洋美術館 令和1年6月11日(火)-9月23日(月祝)	ギュスターヴ・クールベ	《海岸の竜巻(エトルタ)》
「クリスチャン・ボルタンスキー—Lifetime」 国立新美術館 令和1年6月12日(水)-9月2日(月) 長崎県美術館 令和1年10月18日(金)-令和2年1月5日(日) ※平成30年度に国立国際美術館で開催後、巡回	クリスチャン・ボルタンスキー	《シヤス高校の祭壇》
「黄昏の絵画たち 近代絵画に描かれた夕日・夕景」 山梨県立美術館 令和1年6月22日(土)-8月25日(日) 島根県立美術館 令和1年9月4日(水)-11月4日(月休) ※開館20周年記念展	石渡江逸	《生麦の夕》 《横浜長嶋橋所見(落陽)》(85-PRJ-012) 《横浜長嶋橋所見(落陽)》(85-PRJ-013) 《(薄暮) 銚子町今宮通にて》
神戸市立小磯記念美術館 令和1年11月16日(土)-令和2年1月26日(日)	川瀬巴水 小林清親	《東京十二題 深川上の橋》 《東京十二題 木場の夕暮》 《柳嶋日没》 《川口善光寺雨晴》 《江戸橋夕暮富士》 《隅田川小春風》 《千はんくい両国橋》 《橋場の夕暮》 《箱根山峠甘酒屋 春の日午後六時》
「生誕130年記念 小野竹喬のすべて 第一章 竹喬 模索の時代 1889-1938」 笠岡市立竹喬美術館 令和1年7月6日(土)-9月1日(日)	小野竹喬	《港》
「没後90年記念 岸田劉生展」 東京ステーションギャラリー 令和1年8月31日(土)-10月20日(日)	岸田劉生	《椿君之肖像》
山口県立美術館 令和1年11月2日(土)-12月22日(日) ※開館40周年記念・tysテレビ山口開局50周年記念	カミーユ・ピサロ	《積葉のある黄昏》
名古屋市美術館 令和2年1月8日(水)-3月1日(日)	エミール・オルリック	《日本の手品師》 《日本の摺師》

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品・資料名*・収蔵品番号**
千葉県美術館 令和1年9月7日(土)-10月20日(日)	エミール・オルリック	《京都の日本庭園》
和歌山県立近代美術館 令和1年11月2日(土)-12月15日(日)		《日本の絵師》
		《日本の彫師》
「没後60年記念 ポール・ジャクレー展—浮世絵に魅せられた フランス人画家—」	ポール・ジャクレー	《鯉を売る老婆、茨城県水郷》
那珂川町馬頭広重美術館 令和1年9月13日(金)-11月24日(日)		《貝を持つサイパンの少年》(貝の組の内)
		《正装せる朝鮮の子供、ソウル》
		《リタ・サブラン嬢の肖像、グアム島のチャモロ》
		《チャモロの女(赤)》(連作《虹》より)
		《チャモロの女(橙)》(連作《虹》より)
		《チャモロの女(黄)》(連作《虹》より)
		《チャモロの女(緑)》(連作《虹》より)
		《チャモロの女(青)》(連作《虹》より)
		《チャモロの女(藍)》(連作《虹》より)
		《チャモロの女(堇)》(連作《虹》より)
		《蘭を持つヤップの美人、西カロリン諸島》
		《赤い衣服》
		《蟹》
		《メタラニームの驟雨、ポナベ島、東カロリン諸島》
		《タラン島の恋人、西カロリン諸島》
		《漁夫、佐原》
		《波の音、東カロリン諸島》(貝の組の内)
		《めざめ、サイパン島》
		《極楽島、セレベス島》
		《朱塗の鏡、東京》
		《きよし、東京》
		《大漁祝、伊豆》
		《オロール島の少年、東カロリン諸島》
		《翡翠、中国》
		《遠島の花、南洋》
		《失恋、東カロリン諸島》
		《仙人掌、南洋》
		《巢、朝鮮》
		《金魚》(連作《中国宮殿風俗》より)
		《大宮》(連作《中国宮殿風俗》より)
		《秘密の手紙》(連作《中国宮殿風俗》より)
		《古宮の庭で、ソウル》
		《花嫁、ソウル》
		《バナナの木の下で、ヤップ島トミル》
		《真珠、中国東北地方》
		《アイヌの古老、北海道近文》
		《アイヌの老女、北海道近文》
		《花婿、ソウル》
		《ゴビの星、モンゴル人の女性》
		《アンスリウムの花束、パラオ諸島アンガウル島》
		《北風、韓国》
		《トコベイ島の彫刻師、パラオ諸島》
		《冬の花、大島》
		《ジャングルの若いハンター、セレベス島北部》
「府中市制施行65周年記念 おかえり「美しき明治」」	アルフレッド・イースト	《東京の雨の日》
府中市美術館 令和1年9月14日(土)-12月1日(日)		《お堂》

貸出

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品・資料名*・収蔵品番号**
(承前)	アルフレッド・イースト	《日光》 《長崎》
	モーティマー・メンベス	《大阪》 《長崎、港向こうに》 《京都、芝居見物》 《京都の仕事場》(90-PRF-025) 《反映》 《光と影》 《七宝焼の職人》(90-PRF-037) 《提灯の明かり、日本》 《日本の少女》 《家庭の食事》 《日本の大工》 《仲良し、日本》 《戸外での食事》 《青銅職人たち》(90-PRF-048) 《若い青銅職人たち》 《日本の幼児》 《芝居小屋の入口》 《青銅職人たち》(90-PRF-056) 《京都の芸者》 《日本の役者たち》 《瞽女さん》
	チャールズ・ワーグマン	《御茶漬屋》
	渡辺幽香	《白衣婦人像》(仮題)
「神業ニッポン 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼」 横浜高島屋ギャラリー 令和1年9月25日(水)-10月7日(月) ※開店60周年記念・神奈川新聞社創業130周年記念	初代 宮川香山	《高浮彫牡丹二眠猫覚醒大香炉》 (寄託作品[田邊哲人コレクション])
兵庫陶芸美術館 令和1年10月12日(土)-12月15日(日) ※令和2年度から3年度にかけて茨城県陶芸美術館、岐阜県現代陶芸美術館、滋賀県立陶芸の森 陶芸館に巡回予定		《釉下彩白盛鶏図大花瓶》 (寄託作品[田邊哲人コレクション])
「Picasso. Tableaux magiques」 ピカソ美術館(パリ) 令和1年10月1日(火)-令和2年2月23日(日)	パブロ・ピカソ	《ひじかけ椅子で眠る女》
「ピカソ展ーゲルニカ[タピスリ]をめぐって」 群馬県立館林美術館 令和1年10月5日(土)-12月8日(日)	ロバート・キャパ	《ヴェルダンの戦い20周年を記念して開かれた平和集会のドイツ代表团、ヴェルダン、フランス》 《前線に向けて出発する軍用列車、バルセロナ》 《共和国軍兵士、コルドバ戦線、スペイン》 《負傷兵の介抱、マドリッド》 《左翼自由主義人民戦線連合にこぶしを挙げて声援を送る婦人、パリ》 《テルエル、アラゴン戦線、スペイン》(87-PHF-059) 《リオ・セグレ沿いで攻撃中の共和国軍、フラガ近郊、アラゴン戦線、スペイン》(87-PHF-061)
「鑑木清方 清くあれ、潔くあれ、うるはしくあれ」 名都美術館 令和1年10月11日(金)-12月15日(日)	鑑木清方	《春宵怨》
「Hanran: 20th-Century Japanese Photography」 ナショナル・ギャラリー・オブ・カナダ 令和1年10月11日(金)-令和2年3月22日(日) ※pp.18-19参照	秋山庄太郎	《ジブシー・ローズ》(93-PHJ-002) 《奥村土牛》(93-PHJ-042)
	荒木経惟	《写狂人日記 '91 1518-8-99》
	安藤不二夫	《江見絹子》
	石内 都	《絶唱、横須賀ストーリー #5(野比海岸)》

展覧会等名称・展示会場・会期

作家名

作品・資料名*・収蔵品番号**

石内 都	《絶唱、横須賀ストーリー #8(大津町)》
	《絶唱、横須賀ストーリー #10(不入斗町)》
	《絶唱、横須賀ストーリー #11(馬堀海岸)》
	《絶唱、横須賀ストーリー #12(千駄ヶ崎)》
	《絶唱、横須賀ストーリー #30(本町)》
	《絶唱、横須賀ストーリー #49(日の出町)》
	《絶唱、横須賀ストーリー #54(東逸見町)》
	《絶唱、横須賀ストーリー #57(若松町)》
	《絶唱、横須賀ストーリー #58(久里浜)》
	《絶唱、横須賀ストーリー #61(衣笠栄町)》
	《絶唱、横須賀ストーリー #72(本町)》
	《絶唱、横須賀ストーリー #73(大滝町)》
	《絶唱、横須賀ストーリー #80(本町)》
	《絶唱、横須賀ストーリー #85(若松町)》
《絶唱、横須賀ストーリー #98(坂本町)》	
石川真生	《沖縄ソウル・フィリピン人ダンサー》(2009-PHJ-024)
	《沖縄ソウル・フィリピン人ダンサー》(2009-PHJ-025)
奥村泰宏	《職を求めてたむろする失業者たち》
	《ベビーブーム》
	《シューシャインボーイ》
	《金へん景気》
金村 修	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-001)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-002)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-003)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-004)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-005)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-006)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-007)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-008)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-009)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-010)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-011)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-012)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-013)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-014)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-015)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-016)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-017)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-018)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-019)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-020)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-021)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-022)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-023)
	《Keihin Machine Soul》(97-PHJ-024)
木村伊兵衛	《紙芝居》
	《洋服屋》
	《帽子のクリーニング屋》
	《上村松園》(84-PHJ-098)
	《上村松園》(84-PHJ-099)

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品・資料名*・収蔵品番号**
(承前)	木村伊兵衛	《川合玉堂》(84-PHJ-100) 《川合玉堂》(84-PHJ-101) 《鍋木清方》(84-PHJ-103) 《鍋木清方》(84-PHJ-104) 《母と子(東京)》 《与謝野夫妻》 《子供たち(六郷町付近)》 《青年(秋田市仁井田)》 《浦上天主堂(長崎)》 《古い洋館(長崎)》 《列車内》 《秋田》 《渋谷》 《月島(東京)》 《高峰秀子》 《有楽町広場にて》
	口バート・キャパ	《東京駅》 《天理教教会本部、奈良》 《「都をどり」の鑑賞、祇園甲部歌舞練場、京都》 《桂川の岸辺で写生する子どもたち、京都》 《写生、大阪城内》 《昭和通り、尼崎》
	桑原甲子雄	《ファッション》 《東郷元帥国葬の日》 《銀座のレストラン》 《皇居前(2.26クーデターの翌日)》 《浅草六区》 《街》(85-PHJ-050)
	渋谷龍吉	《レートクレームの広告》 《原節子》 《銀座フォトモンタージュ》
	須田一政	《わが東京：根津》(2003-PHJ-006) 《わが東京：青梅》 《わが東京：下谷》 《わが東京：浅草》(2003-PHJ-067) 《わが東京：柴又》 《わが東京：根津》(2003-PHJ-078)
	土田ヒロミ	《吉岡(岡田)宏(「ヒロシマ 1945-1979/2005」より)》 《山村(早志)百合子(「ヒロシマ 1945-1979/2005」より)》 《拒否(「ヒロシマ 1945-1979/2005」より)》(2016-PHJ-011) 《煙崎 宏(「ヒロシマ 1945-1979/2005」より)》 《学生服(「ヒロシマ・コレクション」より)》(2016-PHJ-023) 《ワンピース(「ヒロシマ・コレクション」より)》(2016-PHJ-025) 《軍服(「ヒロシマ・コレクション」より)》 《溶けた仏像(「ヒロシマ・コレクション」より)》
	常盤とよ子	《流行歌の合唱》

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品・資料名*・収蔵品番号**
	常盤とよ子	《路上》 《待合室》(88-PHJ-048) 《追想》(88-PHJ-052)
	土門 拳	《藤田嗣治》 《イサム・ノグチ》 《小林古径》
	中川一夫	《銀座1944.9.24》(85-PHJ-083) 《銀座1944.9.24》(85-PHJ-084) 《銀座1945.7.31》 《銀座1945.12.30》(85-PHJ-086) 《銀座1945.12.30》(85-PHJ-087) 《銀座1946.8.27》(85-PHJ-088) 《銀座1946.8.27》(85-PHJ-089) 《銀座1947.5.1》(85-PHJ-090) 《銀座1947.5.1》(85-PHJ-091)
	中平卓馬	《無題[東京・京橋]》 《無題[葉山]》(2010-PHJ-019) 《無題[東京・後樂園]》 《無題[東京・新宿角筈町]》 《無題》(2010-PHJ-024) 《無題[東京湾]》 《無題[横浜・戸塚]》 《無題[東京・新宿]》 《無題》(2010-PHJ-029) 《無題》(2010-PHJ-032) 《無題》(2010-PHJ-035) 《無題》(2010-PHJ-037) 《無題》(2010-PHJ-038) 《無題[東京・新橋]》 《無題》(2010-PHJ-080) 《無題》(2010-PHJ-082)
	浜口タカシ	《アメリカ原潜スヌックが横須賀基地へ(「鉄条網の内と外」より)》 《原潜が来た日(「鉄条網の内と外」より)》 《成田三里塚(「成田闘争」より)》 《核告発の証人、福田須磨子さん(「人類初の惨禍」より)》 《安田講堂前に集まった8500人の武装学生(「大学紛争」より)》 《13時28分26秒全共闘本部の部屋(「大学紛争」より)》 《佐藤首相と沖縄県民代表(「鉄条網の内と外」より)》 《身体に鎖を巻き付け必死に抵抗(「成田闘争」より)》 《嘉手納基地を背に働く農婦(「鉄条網の内と外」より)》 《沖縄復帰、円とドルの交換(「鉄条網の内と外」より)》 《昭和27年に発掘した遺骨の山(「人類初の惨禍」より)》 《高熱のため溶け曲がったピン(「人類初の惨禍」より)》 《小野田寛郎さんルバング島から帰還(「遅れた終戦」より)》 《反対して座り込む老人(「成田闘争」より)》

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品・資料名*・収蔵品番号**
(承前)	濱谷 浩	《ダンサー、フロリダダンスホール、赤坂、東京》 《花を売る少年、東京》 《日本髪と洋髪の芸者さん、銀座、東京》 《反戦ミュージカル「ヘアー」の稽古、東京》 《昭和女人集のキャッシー木下千鶴嬢、福岡》 《ディスコアラビアンナイトで踊る芸妓さん、京都》 《科学博つくば '85アリーナホステス、茨城》 《成人の日のマハラジャ大盛況、新潟》
	林 忠彦	《隣組整列》 《整列する防空女子通信隊》 《整列する女子挺身隊、日本製鋼》 《太宰治、銀座・酒場(ルパン)》 《煙草をくゆらす戦災孤児、上野》 《原節子、『わが青春に悔いなし』撮影風景(右から黒沢明、中井朝一)》 《坂口安吾》 《倒壊したビルを家に、東京・江戸川橋》 《焼け跡の母子、東京・高田馬場》 《志賀直哉》 《三島由紀夫》 《職を求める人、飯田橋職業安定所》 《女相撲、浅草》 《大衆化したナイロン靴下、渋谷》 《吉原、赤線区域にて》
	原田正路	《「長崎」シリーズ》(2002-PHJ-002) 《「長崎」シリーズ》(2002-PHJ-004) 《「長崎」シリーズ》(2002-PHJ-007)
	福原路草	《和田英作画伯 彦根にて》
	堀 不佐夫	《ポートレイト 二人》
	緑川洋一	《原爆ドーム》 《呉海軍工廠》 《引き上げられた伊号第179潜水艦》 《社長と専務、船場》
	森村泰昌	《セルフポートレイト(女優) ハラ・セツコとしての私》
	師岡宏次	《行商 下駄の齒入れ屋(東京シリーズ)》 《朝の丸の内(東京丸の内シリーズ)》 《雪の柳橋 人力車(東京隅田川シリーズ)》 《午後の銀座裏(東京銀座シリーズ)》 《銀座ダンスホール(東京銀座シリーズ)》 《東京駅前(東京丸の内シリーズ)》 《ラッシュアワー(東京丸の内シリーズ)》 《行商 玄米パン屋(東京シリーズ)》 《銀座の強制疎開(東京シリーズ)》 《終戦後の天皇、皇后陛下(東京シリーズ)》
	八木 治	《空の戦士》
	日本工房による『NIPPON』他のためのコンタクトプリント	《日独伊防共協定成立(「戦時風景(ニュース関係)」ファイルより)》 《組閣誕生まで(「戦時風景(ニュース関係)」ファイルより)》 《原節子(「芸能」ファイルより)》

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品・資料名*・収蔵品番号**
	日本工房による『NIPPON』他のためのコンタクトプリント (逐次刊行物)	《崔承喜(「芸能」ファイルより)》
		《戦闘機(「戦時風景(陸海軍)」ファイルより)》
		《李香蘭/東宝撮影所(「芸能」ファイルより)》
		《予科航空士官学校(「戦時風景(陸海軍)」ファイルより)》
		《藤本四八撮影 看護師(「満州」ファイルより)》
		《出征式(「戦時風景(ニュース関係)」ファイルより)》
		《毒ガスマスク製造工場(「工業」ファイルより)》
		『NIPPON』第13号(復刻版)表紙(美術情報センター所蔵)
		土門拳 撮影「ガールズ・アンド・グライダーズ」 『NIPPON』第14号(復刻版)表紙(美術情報センター所蔵)
		『NIPPON』第18号(復刻版)表紙(美術情報センター所蔵)
『NIPPON』第19号(復刻版)表紙(美術情報センター所蔵)		
『NIPPON』第29号(復刻版)表紙(美術情報センター所蔵)		
『アサヒグラフ』1147号表紙 1946年3月25日刊 (美術情報センター所蔵)		
『アサヒグラフ』1148号表紙 1946年4月5日刊 (美術情報センター所蔵)		
『アサヒグラフ』1153号表紙 1946年5月25日刊 (美術情報センター所蔵)		
常盤とよ子撮影「ヨコハマの特殊女性」『フォトアート』1956年9月号(美術情報センター所蔵)		
「アジアのイメージ—日本美術の「東洋憧憬」」 東京都庭園美術館 令和1年10月12日(土)~令和2年1月13日(月祝)	岡田謙三	《満人の家族》
「生誕120年 芸術写真の神様 塩谷定好とその時代」 鳥取県立博物館 令和1年11月16日(土)~12月15日(日)	塩谷定好 島村逢紅	《左義長の日》 《林檎》 《椿…2》 《初冬》
	山本牧彦	《花を持てる少女》(86-PHJ-120)
		《野外人物》
		《神戸山の手風景》
		《童女の図》
		《画家たち(Tの会場にて)》
		《神父の散歩》
		《旅における中嶋謙吉氏》
		《薔薇》
		《風景(虫とり)》
		《風景(虫とり)》
「シュルレアリスムと絵画—ダリ、エルンストと日本の『シュー マックス・エルンスト ル』」 ポーラ美術館 令和1年12月15日(日)~令和2年4月3日(金) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため早期閉幕	マックス・エルンスト	コラージュ・ロマン『カルメル修道会に入ろうとしたある少女の夢』第12番の挿絵のための原画:《そして「闇の女」を踊りおえると、カルヴァリオの丘の貴婦人たちの舞踏会で、マルスリーヌ=マリーは、押しかける男たちの追従の的になる。》 コラージュ・ロマン『カルメル修道会に入ろうとしたある少女の夢』第44番の挿絵のための原画:《いまは無言の祈禱の時間。祈禱「いとしい主よ、御身のなしうるだけ私をかわいがってくださいますよう。この忘れがたい夜に…」》 コラージュ・ロマン『カルメル修道会に入ろうとしたある少女の夢』第62番の挿絵のための原画:《修道院長「突くのです。かわいい子よ、そなたについて行くのは容易ではありません。私は素っ裸です。」》

貸出

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品・資料名*・収蔵品番号**
(承前)	マックス・エルンスト	コラージュ・ロマン『慈善週間または七大元素』の挿絵のための未使用の原画
	サルバドール・ダリ	《ガラの測地学的肖像》 《ガラの測地学的肖像》のための素描
	オスカル・ドミンゲス (書籍・逐次刊行物)	《日曜日》 西脇順三郎『超現実主義詩論 現代の芸術と批評 叢書 第14編』(美術情報センター所蔵) 『みづゑ』第388号(1937年臨時増刊)(美術情報センター所蔵) "First Papers of Surrealism"(展覧会図録)(美術情報センター所蔵)
「山田耕筈と美術」 栃木県立美術館 令和2年1月11日(土)-3月5日(木) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため早期閉幕	長谷川 潔 長谷川潔関連資料	『假面』第3巻1号表紙の画稿 《柳》(96-PRJ-022) 『假面』第3巻1号(表紙画:長谷川潔(題名なし)) 『假面』第3巻2号(表紙画:長谷川潔(題名なし)) 『假面』第3巻3号(表紙画:長谷川潔(題名なし)) 『假面』第3巻4号(表紙画:長谷川潔(題名なし)) 『假面』第4巻4号(表紙画:長谷川潔《金色に躍れる男》)
「白髪一雄」 東京オペラシティ アートギャラリー 令和2年1月11日(土)-2月28日(金) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため早期閉幕	白髪一雄	《曲流》
「あざみ野フォト・アニユアル ション展 ダゲレオタイプー記憶する鏡」 横浜市民ギャラリーあざみ野 令和2年1月25日(土)-2月23日(日)	エリファレット・ブラウン・ジュニア ハーヴェイ・R. マークス	《遠藤又左衛門と従者》(レプリカ) 《栄力丸船員 仙太郎(SIMPACH)》(レプリカ) 《栄力丸船員 亀蔵(COMMETHO)》(レプリカ)
「生誕100年 國領経郎展 一静寂なる砂の景一」 鳥取県立博物館 令和2年1月25日(土)-2月25日(火) 酒田市美術館 令和2年3月7日(土)-4月7日(火) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため早期閉幕 ※令和2年度に茅ヶ崎市美術館に巡回予定	國領経郎	《山手風景》 《東中野風景》 《布のある椅子に座る裸婦》(仮題) 《背戸(柏崎)》 《女の肖像》(仮題) 《空港への路》 《港の風景》のための習作 《浚渫船建造中》 《船二隻》(仮題) 《船のある風景》 《外人墓地》 《ヨットハーバー》 《砂上の風景》 《福良港》(「スケッチブック5」所収) 《真夏の空間》 《砂の峡》 《昼の月》の習作 《砂の壁》 《歩む男女》(仮題) 《若ものたち》 《轍》 《スコットランド、スカイ島風景》 《静止の空間》 《静止の空間》の習作(「スケッチブック9」所収) 《想》(3部作(連)の内)

美術品の収集、
保存・修復、貸出

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品・資料名*・収蔵品番号**	
「奇蹟の芸術都市バルセロナ」 東京ステーションギャラリー 令和2年2月8日(土)-2月28日(金) ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため早期閉幕	國領經郎	《横臥する裸婦》(仮題) 《横臥する着衣の女》(仮題) 《裸婦座像》(仮題) 《海風の風景》 《海風の風景》の習作 《鳥三羽、萩にて》(仮題) (「スケッチブック11」所収) 《望》(3部作<連>の内) 《手・手・手》(3部作<韻>の内) 《飛行船の浮ぶ港の風景》 《手・手・手》の習作 《希》(3部作<連>の内) 《潮溜》(仮題) 《兆》(3部作<韻>の内) 《手・手・手Ⅱ》(3部作<韻>の内) 《寥寥》の習作	
		ジョアン・ミロ	《花と蝶》

*会場を限定して貸出した作品・資料については展示会場を補記
**同一作品名が複数ある作品・資料については収蔵品番号を補記

広報の活動、外部と連携した事業

広報

個別の展覧会や事業ごとの宣伝だけでなく、横浜市の芸術拠点としての「横浜美術館」の発信、芸術文化の振興のために、広報を重視し、戦略的に取り組んでいます。

私たちが目指している方向とそのための取組み、さまざまな活動の内容とその成果も含め、横浜美術館を支えていただいている市民やメディアそして社会との信頼と支援の関係性をより強固に形成してゆきたいと考えます。そのために「横浜美術館」としての発信を行うパンフレットや刊行物等を発刊するとともに、さまざまな媒体を活用した迅速かつ計画的なPRに取り組んでいます。

また、横浜美術館を取り巻く社会の構造、また市民の生活行動や芸術文化に対するニーズなども今後大きく変化していきます。それらを分析、把握し、私たちの事業や管理運営活動に反映させ、展開していくことが必要です。マーケティング戦略の再構築をすべく、取り組んでいます。

露出件数

新聞	美術雑誌・一般雑誌・FP	ウェブ	TV・ラジオ	その他	海外	合計
606	518	1,985	82	69	17	3,277

展覧会広報

◎ Meet展

記者会見

日時：4月12日(金) 14:30~15:00
 登壇者：逢坂恵理子, 松永真太郎
 会場：レクチャーホール
 参加人数：79人

報道内覧会

日時：4月12日(金) 13:00~15:30
 会場：展示室
 参加人数：119人

内覧会・記念式典

日時：4月12日(金)
 15:30~19:30・16:30~17:00
 会場：グランドギャラリー・展示室
 参加人数：680人(プレス119人含)

◎原三溪展

記者会見

日時：7月12日(金) 12:00~12:30
 登壇者：逢坂恵理子, 柏木智雄
 会場：レクチャーホール
 参加人数：70人

報道内覧会

日時：7月12日(金) 11:00~13:30
 会場：展示室
 参加人数：141人

開会式・内覧会

日時：7月12日(金)
 15:00~15:20・15:20~18:00
 会場：グランドギャラリー・展示室
 参加人数：845人(プレス144人含)

◎オランジュリー展

記者会見

日時：9月20日(金) 12:00~12:30
 登壇者：逢坂恵理子
 セシル・ジラルドー(オランジュリー
 美術館文化財学芸員/本展監修者)
 沼田英子
 会場：レクチャーホール
 参加人数：63人

報道内覧会・取材会

日時：9月20日(金) 11:00~13:15
 演奏者：上白石萌音(女優)
 福間洸太郎(ピアニスト)
 会場：グランドギャラリー・展示室
 参加人数：175人(127媒体)

開会式・内覧会

日時：9月20日(金)
 15:00~15:30・15:30~18:00
 会場：グランドギャラリー・展示室
 参加人数：890人(プレス207人含)



Meet展 報道内覧会



原三溪展 記者会見



オランジュリー展 記者会見



オランジュリー展 取材会



オランジュリー展 ラッピングトレイン



ペリー展 海老名市立中央図書館トークイベント

全館広報

ウェブサイト

アクセス数: 6,338,782pv
(令和2年3月31日現在)

Twitter

フォロワー数: 144,283
(令和2年3月31日現在)

メールニュース

登録者数: 11,175人
(令和2年3月31日現在)
発行数: 定期便23回, 臨時便13回
*新規登録キャンペーンを1回実施

◎ウェブを活用した全館広報

30周年記念ウェブサイト公開(4月)

◎首都圏に焦点をあてた広報展開

Meet展

・東京都現代美術館との相互割引(首都圏)

原三溪展

・三溪園との相互割引(横浜)

オランジュリー展

・海老名市立中央図書館トークイベント
「横浜美術館開館30周年記念『オランジュリー美術館コレクション ルノワールとパリに恋した12人の画家たち』展～学芸員が解説する印象派とエコール・ド・パリの名画たち～」(金井真悠子, 藤井聡子)
・みなとみらい線 ラッピングトレイン運行
・上野の森美術館との相互割引

コレクション展

・横浜シネマリン「バウハウス100年映画祭」
上映後トーク「バウハウスと日本」(江口みなみ)

ペリー展

・海老名市立中央図書館トークイベント
「横浜開港160周年展覧会『絵でたどるペリー来航』～エディューケーターが紐解くペリー来航の記録」(関 淳一, 藤井聡子)

◎海外メディアへの広報

企画展, コレクション展, NAP, 全展で日英での展覧会プレスリリース作成
海外メディアへの展覧会プレスリリース配信
海外VIPへの展覧会招待状送付

マーケティング

展覧会アンケートに見る来場者プロフィール *回収率 = 回収数 ÷ 総入場者数

	Meet展	原三溪展	オランジュリー展
総数	697通 (*回収率1.7%)	748通 (*回収率0.9%)	1,349通 (*回収率0.6%)
来館回数			
11回以上	22%	23%	13%
6～10回	20%	19%	16%
2～5回	32%	31%	38%
今回が初めて	23%	21%	30%
不明	3%	6%	3%
居住地			
市内	40%	40%	32%
市外	54%	51%	63%
不明	6%	9%	5%
性別			
女性	57%	58%	65%
男性	37%	32%	29%
不明	6%	10%	6%
年齢			
19歳以下	7%	6%	9%
20代	14%	4%	11%
30代	10%	6%	9%
40代	19%	13%	13%
50代	22%	22%	25%
60代以上	23%	41%	27%
年齢不明	5%	7%	5%

展覧会報告会 Meet展: 7月9日(火) 原三溪展: 9月27日(金) オランジュリー展: 2月19日(水)

外部と連携した事業

文化芸術創造都市「横浜」の中心的な施設として、横浜市の都市戦略である創造都市形成や、シティ・セールス、観光プロモーションと連携した事業を展開しています。また、横浜市芸術文化振興財団は、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫1号館などを管理運営しています。それぞれに専門分野がありますが、社会課題への対応や子どもへの取組みなどの共通の課題については、横断的な検討体制により連携して実施します。

都市戦略との連携

◎横浜市が推進するイベント等との連携

NHK横浜放送局・神奈川芸術劇場連携
横浜音楽祭2019開催記念 横浜美術館開館30周年記念

音楽舞台「偶然の出会いのように〜ダリ、マグリット、エルンストの迷宮美術館〜」

横浜美術館が所蔵するダリやマグリットなどの代表的なシュルレアリスム作品をNHKが撮影し、その映像を舞台美術として活用したAKB48小田えりな主演によるオリジナル舞台。

日時：9月27日(金)～29日(日)

各13:00～,17:00～

*9月27日(金) 13:00～はゲネプロ

会場：KAAT 神奈川芸術劇場大スタジオ

主催：NHK横浜放送局

KAAT 神奈川芸術劇場

横浜アーツフェスティバル実行委員会

横浜美術館

参加人数：158人,123人,197人,217人,

187人,196人

ライトアップ

●Night SYNC YOKOHAMA2019

日時：11月1日(金)～12月27日(金)

18:00～21:10

会場：新港中央広場を中心とした新港地区

主催：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会

●ヨコハマミライト

～みらいを照らす光のまち～

日時：11月14日(木)～2月16日(日)

16:00～23:00

(さくら通りのみ22:00まで)

会場：横浜駅～横浜ランドマークタワー
クヤードガーデン、さくら通りをつなぐ各エリア

主催：ヨコハマミライト実行委員会事務局

クラシック・ヨコハマ

「音遊びワークショップ」

日時：1月18日(土) 10:20～15:00

進行役：井上勢津(音楽療法士)

高田百合子(音楽療法士)

会場：8階レセプションルーム、展示室

主催：クラシック・ヨコハマ推進委員会、横浜市

参加人数：述べ114人



クラシック・ヨコハマ2019



横浜美術館で音楽会4



グランドギャラリー・コンサート(連弾)



SUVフェア2019

専門館連携

開館30周年式典イベント

*開館30周年記念事業 参照(p.67)

横浜みなとみらいホール連携

●第224回オルガン・1ドルコンサート

原三溪展紹介

日時：7月19日(金) 12:10～

会場：横浜みなとみらいホール

担当：日比野民蓉

参加人数：1,253人

●横浜美術館で音楽会4

「オランジュリー美術館コレクション ルノワールとパリに恋した12人の画家たち」展によせて

日時：10月25日(金)

14:00～15:30,19:00～20:30

会場：レクチャーホール

出演：坂本真由美(ピアノ)

三又治彦(ヴァイオリン)

坂本日菜(オルガネット)

山口とも(パーカッション)

沼田英子

参加人数：175人,174人

●オランジュリー展連携「グランドギャラリー・コンサート」

日時：11月20日(水)

14:00～14:20,16:30～16:50

会場：グランドギャラリー

出演：平 洋子(ピアノ)

増田美穂(ピアノ)

参加人数：470人,190人



エコ教室1部



エコ教室2部

外部との連携

NHK文化センター連携

日時: 7月27日(土) 17:00~18:30
会場: 円形フォーラム, 原三溪展展示室
講師: 柏木智雄
参加人数: 6人

NTT連携

スマートフォンを使った作品情報表示サービスの実証実験
日時: 8月5日(月)-9月1日(日)

横浜観光コンベンションビューロー連携

横浜美術館・三溪園無料シャトルバス限定運行
日時: 8月19日(月)-21日(水)・23日(金)・26日(月)
1日4便(美術館→三溪園)
1日5便(三溪園→美術館)

横浜美術館「原三溪の美術」展×横浜雙葉中学高等学校 茶道部 呈茶席
*鑑賞サポート 企画展 原三溪展 参照(p.30)

SUVフェア2019

日時: 9月7日(土) 10:00~17:00
8日(日) 10:00~16:00
会場: 横浜美術館正面広場(新型車両展示) バス駐車場(試乗車)
主催: SUVフェア2019実行委員会
参加人数: 14,200人

野村総合研究所実験協力

VRを使ったストレスケアの実証実験において美術品鑑賞の分野で協力

Heart to Art(企業向け芸術支援プログラム)

Heart to Artは、企業からの支援により美術の普及活動や市民へのサービスを充実させるプログラムです。企業と美術館がそれぞれのノウハウを活かすことにより幅広い展開を目指しています。

参加企業: 7社

NTTテクノクロス株式会社/千代田化工建設株式会社/株式会社ニコン
株式会社ニコンイメージングジャパン/日産自動車株式会社/株式会社野村総合研究所
横浜信用金庫

参加企業との取り組み

株式会社ニコンイメージングジャパン/株式会社ニコン

TopEye 全国高校生写真サミット2020

日時: 1月31日(金)-2月2日(日)
会場: レクチャホール, アートギャラリー1・2, 円形フォーラム

日産自動車株式会社

*地域社会や市民生活に貢献する事業 アウトリーチ事業等 参照(p.43)

株式会社野村総合研究所

アートダイアログ 6回実施

横浜信用金庫

1 《よこしん》親子でエコ教室

日時: 7月26日(金)
会場: レクチャホール, 子どものアトリエ
参加人数: 289人

2 アウトリーチ 3件

*地域社会や市民生活に貢献する事業 アウトリーチ事業等 参照(p.43)

特別鑑賞会

日本ライセンス協会レセプション+特別鑑賞会

日時: 5月27日(月) 18:30~21:30
会場: グランドギャラリー, Meet展展示室
参加人数: 415人

第1回横浜みなとみらい大交流会 (YMM地域交流会)

日時: 8月22日(木)
会場: 円形フォーラム, グランドギャラリー
原三溪展展示室
参加人数: 162人

展覧会協賛特典

野村総合研究所特別鑑賞会+ファミリーイベント

日時: 10月6日(日) 18:30~21:30
会場: グランドギャラリー, オランジュリー展
展示室, 子どものアトリエ
参加人数: 568人

サステナブル・ブランド国際会議2020 ウェルカムレセプション

日時: 2月18日(火) 18:00~22:00
会場: グランドギャラリー
参加人数: 160人

日本胃癌学会レセプション

日時: 3月5日(木)
会場: グランドギャラリー
*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
中止

来館者へのおもてなし

ビジターサービス

さまざまな方に向けたサービスとして、引き続き企画展観覧料の障がい者割引を実施しました。また、展覧会へのご理解を気軽に深めていただけるよう、個人や団体向けの鑑賞レクチャーを開催しました。エントランスホールであるグランドギャラリーにおいて、季節感のある空間演出を行っています。

団体向け鑑賞前レクチャー

日時：各企画展・コレクション展会期中
全36団体
会場：美術館内各所
参加人数：1,542人

近隣アートプログラム

MARK ISみなとみらい店長会等

日時：(各火曜) [12回] 4月9日, 5月14日,
6月11日, 7月9日, 8月20日, 9月10日,
10月8日, 11月12日, 12月10日, 1月14日,
2月18日
*3月10日は新型コロナウイルス感染症
拡大防止のため中止

会場：レクチャーホール
参加人数：計1,171人

夜間開館

企画展会期中の毎週金土
各18:00~20:00
*10月12日(土)は台風19号の影響により臨時休館
*1月10日(金)・11日(土)・12日(日)は21:00
まで開館
参加人数：7,010人

パンフレット等整備

ライトアップ

9月20日(金)から常設

グランドギャラリーの演出

生花装飾

12月25日(水)-1月7日(火) 門松
1月3日(金)-7日(火) 正月装花



門松



正月装花



開館30周年記念 ワイン



開館30周年記念 限定焼菓子詰め合わせ



抹茶わらび餅の和風パフェ



カレーピザトースト

ミュージアムショップとカフェ

◎ミュージアムショップ

横浜美術館のコレクションをデザインしたオリジナルグッズや企画関連グッズをはじめ、過去の展覧会図録や、美術に親しむための書籍類、ポストカードやステーションナリーなどの身近な商品から、お子様向けの絵本など、約1,000種の商品を取り揃えています。

営業時間：11:00～18:00（各展覧会の夜間開館日は20:00まで営業）

*10月12日(土)・13日(日)は台風19号の影響により臨時休業

*2月29日(土)-3月31日(火)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業

*9月27日(金)・28日(土)、1月10日(金)-12日(日)は21:00まで営業

オリジナルグッズ

横浜美術館開館30周年記念による「ワイン」「お菓子」「カレンダー」の3種を販売。

*ワインは4月-3月、お菓子は4月-11月、カレンダーは9月-1月

オンラインショップ

300点以上の商品を掲載。企画展ごとの特設カテゴリーを開設。

◎Café小倉山

展覧会の余韻を感じながらくつろげるスペースで飲み物や軽食を提供しています。

営業時間：10:45～18:00（各展覧会の夜間開館日は20:00まで営業）

ラストオーダーは閉店の30分前

*9月9日(月)は台風15号の影響により臨時休業

*10月12日(土)・13日(日)は台風19号の影響により臨時休業

*2月29日(土)-3月31日(火)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業

*9月27日(金)・28日(土)、1月10日(金)-12日(日)は21:00まで営業

カフェ

コレクションを利用したオリジナルメニューと企画展ごとのメニューを提供。

展覧会限定メニュー

●Meet展

キャロットラペとグリルチキンの30サンド

マンゴーベリーソーダ

マンゴーベリーソーダフロート

●原三溪展

香ばしセサミの抹茶ラテ

抹茶わらび餅の和風パフェ

●オランジュリー展

恋するオランジュリーラテ

●コレクション展

カレーピザトースト クラムチャウダー付き

期間限定メニュー

クリスマス：クリスマスプレート2019

西区キャンドルアート限定：

ひこにゃんバナナラテ

にしまろちゃんパンケーキ

ラテ&パンケーキセット

国際的な交流・発信

ヨコハマトリエンナーレ2020への取り組み

打合せ、イベントのための来館

ラクス・メディア・コレクティヴ
(ジーベツシュ・バグチ、モニカ・ナルラ、シュツ
ダプラタ・セングプタ)
インド
6月21日(金)-7月2日(火), 7月14日(日)-15日
(月祝), 10月30日(水)-11月1日(金), 11月26日
(火)-12月5日(木), 1月16日(木)-1月20日(月)

イシャム・ベラダ
アーティスト
フランス
イヴァナ・フランケ
アーティスト
ドイツ
カペロ・マラツツィ
キュレーター
南アフリカ
ミシェル・ウオン
キュレーター
香港
11月26日(火)-12月5日(木)

制作のための滞在

ランティアン・シイエ
アーティスト
アラブ首長国連邦
11月26日(火)-1月31日(金)

メイク・オア・ブレイク
(レベツカ・ギャロ&コニー・アンテス)
アーティスト
オーストラリア
2月9日(日)-2月27日(木)

ヨコハマトリエンナーレ2020 イベント「エピソード00 ソースの共有」

日時: 11月29日(金)・30日(土)
各14:00~18:00
*11月29日(金)はプレスプレビュー
会場: プロット48
参加人数: 141人, 163人

国際シンポジウム

横浜美術館開館30周年記念国際シンポジウム
*開館30周年記念事業 国際シンポジウム 参
照(p.67)

来館者 (肩書きは来館・視察当時)

セシル・ドゥブレー
オランジュリー美術館長
ジャン・ノーダン
オルセー・オランジュリー美術館次長
セシル・ジラルドー

オランジュリー美術館学芸員
オランジュリー展開会式登壇
9月20日(金)

デイヴィッド・ロックフェラー・ジュニア
館長表敬訪問, 美術館視察
11月5日(火)

コートニー・フィン
クリーブランド現代美術館チーフキュレー
ター
マイケル・ヴェッター
ニューフィールズのインディアナポリス美術
館の現代美術助手
ラファエラ・プラトー
アリス&ハリスウェストンシンシナティ現代
美術センター(CAC) ディレクター
シリ・エンバーク
ウォーカーアートセンター, ビジュアルアーツ
部門のシニアキュレーターおよび展示会管理
ディレクター
ターニャ・ジンバルド
サンフランシスコ近代美術館, メディアアーツ
補佐
美術館視察
11月18日(月)

海外出張

逢坂恵理子

リュブリアナ(スロヴェニア)、ヴェネチア(イ
タリア)
IBA(国際ビエンナーレ協会) 理事会の出席
6月11日(火)-17日(月)

オタワ、バンクーバー(カナダ)
「横浜美術館開館30周年特別企画 横浜美術
館逢坂館長とカナダのアートをめぐる旅」同行
10月9日(水)-15日(火)

サンチャゴ(チリ)
IBA(国際ビエンナーレ協会) 理事会・総会出席
12月8日(日)-15日(日)

帆足亜紀

マドリッド(スペイン)
IEO 定例会議への出席
4月2日(火)-7日(日)

アテネ(ギリシャ)、ヴェネチア(イタリア)、シャ
ルジャ(UAE)
ラクス・メディア・コレクティヴとの打ち合わ
せ、ヴェネチア・ビエンナーレのオープニング
へ出席、シャルジャ・ビエンナーレ調査
5月5日(日祝)-13日(月)

サンチャゴ(チリ)
IBA(国際ビエンナーレ協会) 総会の出席

12月8日(日)-15日(日)

内山淳子

スコットランド(イギリス)
ヨコハマトリエンナーレ2020出品候補作品
の調査
8月27日(火)-9月1日(日)

中村尚明

ニューヨーク(アメリカ)
ノグチ長谷川展クワリエと展示撤去指導
ノグチ美術館(ニューヨーク)
4月22日(月)-5月1日(水祝), 6月11日(火)-16
日(日), 7月22日(月)-26日(金), 9月5日(木)-
8日(日)

サンフランシスコ(アメリカ)
ノグチ長谷川展クワリエと展示撤去指導
サンフランシスコ・アジア美術館
9月9日(月)-16日(月祝), 11月3日(日祝)-8
日(金), 12月8日(日)-13日(金)

襟川文恵

オタワ、バンクーバー(カナダ)
「横浜美術館開館30周年特別企画 横浜美術
館逢坂館長とカナダのアートをめぐる旅」同行
10月9日(水)-15日(火)

木村絵理子

アテネ(ギリシャ)、ヴェネチア(イタリア)、ドーハ
(カタール)
ヨコハマトリエンナーレ2020調査及び打合
5月6日(月祝)-14日(火)

オタワ(カナダ)
コレクションによる海外巡回展作品展示立
会、内覧会、トーク出講
9月24日(火)-10月14日(月祝)

トロント、モントリオール(カナダ)
トロント・ビエンナーレ、モントリオール・ビ
エンナーレ調査、ヨコハマトリエンナーレ
2020出品候補作家・作品の調査
9月28日(土)-29日(日), 10月5日(土)-6日(日)

庄司尚子

オタワ(カナダ)
コレクションによる海外巡回展クワリエ業務
9月3日(火)-7日(土)

片多祐子

パリ(フランス)
パリ国立ピカソ美術館クワリエ業務
2月1日(土)-4日(火)

長谷川珠緒

パリ(フランス)
パリ国立ピカソ美術館クワリエ業務
9月17日(火)-21日(土)

開館30周年記念事業

企画展

Meet the Collection—アートと人と、美術館—

原三溪の美術 伝説の大コレクション
オランジュリー美術館コレクション ルノ
ワールとパリに恋した12人の画家たち

* 展覧会事業 企画展 参照 (pp.8-13)

コレクション展

横浜美術館コレクション展 2019年4月13
日(土)-2019年9月1日(日)

横浜美術館コレクション展 2019年9月21
日(土)-2020年1月13日(月・祝)

* 展覧会事業 コレクション展 参照 (pp.14-
17)

その他展覧会

絵でたどるペリー来航

* 展覧会事業 絵でたどるペリー来航 参照
(pp.20-21)

式典

横浜美術館開館30周年記念式典およびMeet
展開会式

日時: 4月12日(金) 16:30~17:00

会場: グランドギャラリー

登壇者: 高円宮妃久子殿下

林 文子(横浜市長)

松本 研(横浜市会議長)

坂田 宏(横浜美術館協会会長)

並木裕之(神奈川新聞社代表取締役
社長)

中村行宏(テレビ神奈川代表取締役
社長)

近藤誠一(横浜市芸術文化振興財団
理事長)

逢坂恵理子

展覧会ゲスト・アーティスト:

浅井裕介, 今津 景, 菅 木志雄, 東 芋

司会: 岩崎里衣

協賛: 大沢ワインズ

協力: 横浜みなとみらいホール, 横浜能楽堂

国際シンポジウム

横浜美術館開館30周年記念国際シンポジウム
アートでつなぐ人とみらい—美術館は何のため?
そして誰のため?

日時: 6月8日(土) 14:00~17:00

登壇者: ティモシー・ラブ(フィラデルフィア
美術館館長兼 CEO)

アロン・シーター(ミュージアム MACAN
[Modern and Contemporary Art
in Nusantara] 館長)

高橋瑞木(センター・フォー・ヘリ
テージ・アーツ・アンド・テキスタイル
[CHAT] 共同ディレクター)

逢坂恵理子

会場: レクチャーホール

参加人数: 180人

分科会(ラウンドテーブル)

アートでつなぐ人とみらい—次世代の美術館
を考える

日時: 6月9日(日) 10:30~12:30

登壇者: 正路佐知子(福岡市美術館 学芸員)

高橋瑞木(センター・フォー・ヘリ
テージ・アーツ・アンド・テキスタイル
[CHAT] 共同ディレクター)

弘中智子(板橋区立美術館 学芸員)

松岡 剛(広島市現代美術館 主任学
芸員)

片多祐子

松永真太郎

司会: 帆足垂紀

会場: 円形フォーラム

参加人数: 26人

イベント

NHK 横浜放送局・神奈川芸術劇場連携
横浜音祭り2019開催記念 横浜美術館開館
30周年記念

音楽舞台「偶然の出会いのように〜ダリ、マグリ
ット、エルンストの迷宮美術館〜」

* 外部と連携した事業 都市戦略との連携 横
浜市が推進するイベント等との連携 参照
(p.62)

株式会社エイチ・アイ・エス連携

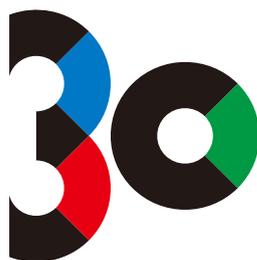
「横浜美術館開館30周年特別企画 横浜美
術館逢坂館長とカナダのアートをめぐる旅」

日時: 10月9日(水)-15日(火)

行先: オタワ, バンクーバー(カナダ)

費用: 330,000円

参加人数: 11人



YOKOHAMA MUSEUM OF ART
30TH ANNIVERSARY
横浜美術館30周年

ロゴマーク



記念書籍

開館30周年記念事業

バースデー・ウィークエンド

「オランジュリー展」学芸員によるミニレクチャー

*鑑賞サポート 企画展 オランジュリー展 参照 (p.30)

「ベリー展」スペシャル・レクチャー

*鑑賞サポート その他展覧会 ベリー展 参照 (p.32)

横浜美術館開館30周年記念呈茶席

日時:11月2日(土) 16:30~19:00

協力:裏千家淡交会 横浜青年部

会場:グランドギャラリー

参加者:延べ113人

横浜美術館コレクション展

2019年9月21日(土)-2020年1月13日(月祝)

観覧無料

日時:11月3日(日祝) 10:00~18:00

会場:コレクション展展示室

無料入館者数:1,596人

横浜美術館メールニュース新規登録キャンペーン

先着200名様にオリジナルてぬぐい(非売品)をプレゼント

日時:11月3日(日祝) 11:00~14:00

会場:グランドギャラリー

対象:横浜美術館メールニュースに新規登録者
登録人数:200人

開館30周年記念書籍出版記念スペシャルトーク「生きている美術館、生きている芸術家—実践的ミューゼオロジーについて」

日時:11月3日(日祝) 14:00~15:30

出演:森村泰昌(美術家)

会場:レクチャーホール

参加者:137人

「ベリー展」展覧会・ココがみどころ!

*鑑賞サポート ボランティアによるサポート
個人向け 参照(p.33)

「コレクション展」アニバーサリー・ギャラリートーク

*鑑賞サポート コレクション展 参照(p.31)

横浜美術館館内スタンプラリー

スタンプをすべて集めた方にオリジナルノート(非売品)をプレゼント

日時:11月1日(金)-4日(月休) 10:00~18:00

会場:横浜美術館(台紙は総合案内で配布)

参加費:無料

参加人数:(各日先着50人)50人,50人,50人,50人

ポストカードプレゼントキャンペーン

14:00以降にオランジュリー展にご来場された先着500名様にオランジュリー展のポストカードをプレゼント

日時:11月1日(金)-4日(月休) 14:00~

会場:グランドギャラリー

参加人数:(各日定員500人)500人,500人,500人,500人

横浜美術館バースデーお楽しみ袋

開館30周年記念の特別バージョンを限定販売

販売期間:11月1日(金)-4日(月休)*限定30個
価格:3,000円(税込)

販売場所:横浜美術館ミュージアムショップ
(通信販売なし)

記念企画商品制作

記念書籍

『横浜美術館30周年記念 美術でつなぐ人とみらい』

寄稿者:朝吹真理子,五十嵐太郎,伊藤亜紗
円城 塔,岡田利規,鈴木理策
ドミニク・チェン,奈良美智,西沢立衛
平田オリザ,森村泰昌

出版社:河出書房新社

横浜美術館×大沢ウィンズ

横浜美術館開館30周年記念ワイン

・白ワイン/ソーヴィニヨン・ブラン2015年
(ラベル:ルネ・マグリット《王様の美術館》)
・赤ワイン/ピノ・ノワール2014年
(ラベル:長谷川潔《狐と葡萄(ラ・フォンテーヌ寓話)》)

横浜美術館開館30周年記念

限定焼き菓子詰め合わせ

内容:アンリ・シャルバンティエの焼き菓子
デザインパッケージ:
ルネ・マグリット《王様の美術館》

横浜美術館開館30周年記念

2020年横浜美術館コレクションカレンダー

「第71回全国カレンダー展」文部科学大臣賞・金賞受賞

横浜美術館開館30周年記念オリジナルペーパーバッグ

「東京TDC賞2020」入選



記念式典



国際シンポジウム 撮影:田中雄一郎



カナダツアー



呈茶席



スペシャルトーク



カレンダーとオリジナルペーパーバッグ

資料

入館者数・収支

◎入館者数

経年推移

平成元年度	1,127,386人	平成12年度	1,082,553人	平成23年度	459,716人
平成2年度	990,818人	平成13年度	862,895人	平成24年度	662,159人
平成3年度	555,276人	平成14年度	372,395人	平成25年度	1,058,689人
平成4年度	541,465人	平成15年度	780,928人	平成26年度	529,748人
平成5年度	1,327,380人	平成16年度	331,873人	平成27年度	533,750人
平成6年度	528,995人	平成17年度	1,527,694人	平成28年度	584,725人
平成7年度	989,037人	平成18年度	341,657人	平成29年度	451,228人
平成8年度	344,239人	平成19年度	413,410人	平成30年度	964,192人
平成9年度	942,509人	平成20年度	770,310人	令和1年度	816,828人
平成10年度	278,954人	平成21年度	540,047人		(令和2年3月31日現在)
平成11年度	792,905人	平成22年度	1,408,713人		

令和1年度事業別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企画展	8,085	13,707	18,012	21,077	52,634	22,921	53,308	53,474	50,324	46,794	0	0	340,336
コレクション展	9,570	15,364	19,016	23,876	58,388	24,163	52,826	54,715	51,666	47,330	0	0	356,914
New Artist Picks展	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美術情報センター	2,402	2,633	2,593	4,668	9,019	3,426	3,976	4,055	4,400	3,744	1,339	0	42,255
鑑賞サポート	92	362	303	461	890	4,742	11,031	5,638	369	33	45	0	23,966
子どものアトリエ	1,468	2,226	2,004	1,898	1,337	1,942	1,569	2,314	1,884	1,817	1,438	0	19,897
市民のアトリエ	159	505	760	641	264	571	643	697	669	558	616	0	6,083
市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業	384	344	315	410	6,259	267	438	406	362	154	176	0	9,515
広報の活動、外部と連携した事業	114	690	693	651	291	116	1,180	1,398	257	334	517	0	6,241
その他	1,241	1,226	510	1,635	1,463	876	916	1,126	1,258	1,023	287	60	11,621
合計	23,515	37,057	44,206	55,317	130,545	59,024	125,887	123,823	111,189	101,787	4,418	60	816,828

◎収支

収入

指定管理料	865,854,000
利用料金収入	74,570,696
自主事業収入	320,518,250
横浜市費用負担	8,592,000
雑入	58,691,423
合計	1,328,226,369

支出

人件費	342,241,202
事務費	10,772,828
事業費	436,138,358
夜間運営費	48,228,000
作品等移転準備費	50,000,000
管理費	206,901,957
公租公課	37,194,884
事務経費	175,665,953
合計	1,307,143,182

役員等・組織図

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団役員

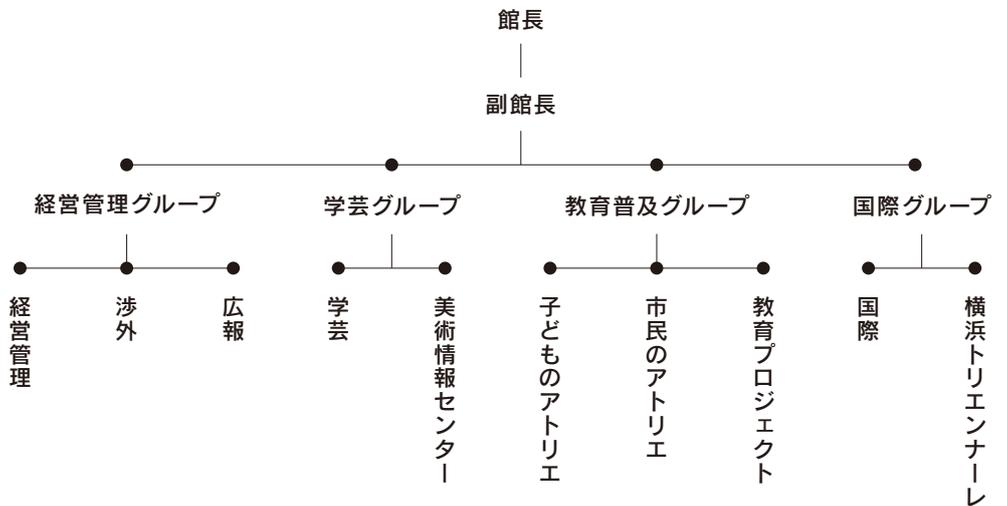
理事長	近藤誠一	元文化庁長官(代表理事)
専務理事	恵良隆二	(代表理事)
理事	日比野政芳	事務局長(業務執行理事)
	藤崎信裕	経営企画室長(業務執行理事)
	杉浦正美	総務グループ長(業務執行理事)
	逢坂恵理子	横浜美術館 館長(業務執行理事)
	小野晋司	横浜赤レンガ倉庫1号館 館長 兼 協働推進グループ担当グループ長(業務執行理事)
	近澤弘明	株式会社近沢レース店 代表取締役社長
	富岡順一	元国際交流基金 事業開発戦略室長
	久野敦子	公益財団法人セゾン文化財団常務理事 兼 プログラム・ディレクター
監事	齋藤貴司	税理士/ベイ・タックス税理士法人 代表社員
	柴田悟一	元横浜商科大学学長/横浜市立大学 名誉教授

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団評議員

秋岡 陽	フェリス女学院大学 学長
池戸淳子	横浜市文化観光局 局長
石原 勉	日本放送協会横浜放送局 局長
上野 孝	横浜商工会議所 会頭/上野トランステック株式会社 代表取締役会長兼社長
柏崎 誠	横浜市信用保証協会 会長
中村行宏	株式会社テレビ神奈川 代表取締役社長
並木裕之	株式会社神奈川新聞社 代表取締役社長

(令和2年3月31日現在)

横浜美術館組織図



職員名簿

館長		逢坂恵理子		
副館長		五十嵐誠一		
副館長・主席学芸員		柏木智雄		
経営管理グループ	経営管理	経営管理グループ長	榑崎和雄	
		チームリーダー	藤井聡子	
		チームリーダー	水谷英智	
		チームリーダー	吉川由紀子	
		担当リーダー	足立陽子	
		担当リーダー	襟川文恵	
		担当リーダー	迫田利則	
			一色あずさ	
			梅澤のど佳	
			奥津絵里	
			川邊 萌	
			桑原佳代	
			小屋有紀子	
			坂口周平	
	田邊昌子			
	普川由貴子			
	山本紀子			
学芸グループ	学芸	学芸グループ長・主席学芸員	沼田英子	
		美術情報センター担当グループ長		
		主任司書／主任学芸員	八柳サエ	
		チームリーダー・主任学芸員	内山淳子	
		チームリーダー・主任学芸員	中村尚明	
		チームリーダー・主任学芸員	松永真太郎	
		担当リーダー・主任学芸員	木村絵理子	
		担当リーダー・コーディネーター	庄司尚子	
		学芸員	江口みなみ	
		学芸員	大澤紗蓉子	
		学芸員	片多祐子	
		学芸員	金井真悠子	
		学芸員	坂本恭子	
		学芸員	長谷川珠緒	
		学芸員	日比野民蓉	
		レジストラ	相原佳奈子	
			大沢知二	
		美術情報センター	司書	大西絢子
			司書	長谷川菜穂
			司書	菱村宏子
		教育普及グループ	教育普及グループ長・主席エデュケーター	山崎 優
				主席エデュケーター
			子どものアトリエ	チームリーダー・主任エデュケーター
創作・造形エデュケーター	大岩久美			
創作・造形エデュケーター	高德早矢香			
市民のアトリエ	チームリーダー・主任エデュケーター		木下貴博	
	担当リーダー・主任エデュケーター		櫻庭瑠実	
	創作・造形エデュケーター		佐藤琢巳	
教育プロジェクト	創作・造形エデュケーター		森 未祈	
	チームリーダー・主任エデュケーター／主任学芸員		端山聡子	
	鑑賞教育エデュケーター・学芸員		太田雅子	
	鑑賞教育エデュケーター・学芸員	北川裕介		
国際グループ	国際	鑑賞教育エデュケーター・学芸員	古藤 陽	
		国際グループ長・学芸グループ長(兼務)	帆足亜紀	
	横浜トリエンナーレ	チームリーダー	福岡綾子	
			高橋伸佳	
			小山内幸恵	

56名(令和2年3月31日現在)

*同職名の場合は、五十音順

条例・施行規則

横浜美術館条例

昭和63年9月24日
条例第44号

横浜美術館条例をここに公布する。
横浜美術館条例

(設置)

第1条 美術文化の振興と市民の美術に関する学習、創作活動等に寄与するため、横浜美術館(以下「美術館」という。)を横浜市西区に設置する。
(平元条例39・平10条例25・一部改正)

(事業)

第2条 美術館は、次の事業を行う。
(1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)の保管、調査研究、展示及び利用に関すること。
(2) 美術に関する情報の収集及び提供に関すること。
(3) 美術に関する調査及び研究に関すること。
(4) 美術に関する市民の創作活動等の指導及び助言に関すること。
(5) 美術に関する講演会、講習会、講座等の開催に関すること。
(6) 前各号の事業のための施設及び設備の提供に関すること。
(7) その他美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(施設)

第3条 前条に掲げる事業を行うため、美術館に次の施設を置く。
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室及びグランドギャラリー
(2) 企画展示室、アトリエ及びレクチャーホール
(3) 駐車場
(平23条例23・一部改正)

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間及び休館日は、規則で定める。

(指定管理者の指定等)

第5条 次に掲げる美術館の管理に関する業務は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、指定管理者(同項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に行わせるものとする。
(1) 美術館の施設の利用の許可等に関すること。
(2) 特別利用(第9条第1項に規定する特別利用をいう。)の許可等に関すること。
(3) 第2条に規定する事業の実施に関すること。
(4) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
(5) その他市長が定める業務
2 指定管理者は、横浜市の文化芸術の振興及び普及に関する施策の方針を理解し、美術に関する高度な専門的知識を有するとともに、美術品等の保管、調査研究及び展示、美術に関する講座等の開催その他美術文化の振興を図るための事業を自ら企画し、及び実施し、並びに市民による美術に関する学習、創作活動等に対する支援を行うものでなければならない。
3 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を市長に提出しなければならない。
4 市長は、前項の規定により提出された書類を審査し、かつ、実績等を考慮して、美術館の設置の目的を最も効果的に達成することができるものと認めたものを指定管理者として指定する。
5 市長は、指定管理者の候補者を選定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、第15条第1項に規定する横浜美術館指定管理者選定評価委員会(以下「選定評価委員会」という。)の意見を聴かななければならない。
(平17条例69・追加、平23条例48・一部改正)

(指定管理者の指定等の公告)

第6条 市長は、指定管理者の指定をしたとき、及びその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告しなければならない。
(平17条例69・追加)

(管理の業務の評価)

第7条 指定管理者は、市長が特別の事情があると認める場合を除き、その指定の期間において、第5条第1項各号に掲げる美術館の管理に関する業務について、選定評価委員会の評価を受けなければならない。
(平23条例48・追加)

(利用の許可)

第8条 第3条第2号に掲げる施設を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、美術館の施設の利用が次のいずれかに該当する場合は、利用を許可しないものとする。
(1) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(2) 美術館の設置の目的に反するとき。
(3) 美術館の管理上支障があるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めたとき。
4 第1項の許可の手續について必要な事項は、規則で定める。
(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第5条線下・一部改正、平23条例48・旧第7条線下)

(美術品等の特別利用の許可)

第9条 美術館に保管され、又は展示されている美術品等について、学術研究等のため、撮影、模写、模造、熟覧等(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術品等の保全上及び美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、特別利用が次のいずれかに該当する場合は、特別利用を許可しないものとする。
(1) 美術品等の保全上支障があるとき。
(2) 美術館の管理上支障があるとき。
(3) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めたとき。
4 第1項の許可の手續について必要な事項は、規則で定める。
(平17条例69・旧第6条線下・一部改正、平23条例48・旧第8条線下)

(利用料金)

第10条 常設展示室において、展示されている美術品等を観覧しようとする者は、指定管理者に対し、その利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を支払わなければならない。
2 美術情報室において、美術情報機器を利用しようとする者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
3 レクチャーホールの利用について、第8条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
4 特別利用について、前条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
5 駐車場を利用する者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
6 第1項の利用料金にあつては別表第1に定める額の範囲内において、第2項の利用料金にあつては別表第2に定める額の範囲内において、第3項の利用料金にあつては別表第3に定める額の範囲内において、第4項の利用料金にあつては1点につき1回又は1日ごとに3,000円の範囲内において、前項の利用料金にあつては別表第4に定める額の範

条例・施行規則

圏内において、指定管理者が市長の承認を得て定めるものとする。

7 第1項から第4項までの利用料金は、前納とする。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、後納とすることができる。

8 第5項の利用料金は、後納とする。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第7条繰下・一部改正、平23条例23・一部改正、平23条例48・旧第9条繰下・一部改正)

(利用料金の減免)

第11条 指定管理者は、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第8条繰下・一部改正、平23条例48・旧第10条繰下)

(利用料金の不返還)

第12条 既納の利用料金は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第9条繰下・一部改正、平23条例48・旧第11条繰下)

(許可の取消し等)

第13条 指定管理者は、第8条第1項及び第9条第1項の規定により許可を受けた者が次のいずれかに該当する場合は、当該許可を取り消し、又は施設の利用若しくは特別利用を制限し、若しくは停止させることができる。

(1) 第8条第3項各号又は第9条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(2) この条例若しくはこの条例に基づく規則の規定又はこれらに基づく指定管理者の処分に違反したとき。

(3) この条例に基づく許可の条件に違反したとき。

(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第10条繰下・一部改正、平23条例48・旧第12条繰下・一部改正)

(入館の制限)

第14条 指定管理者は、美術館の入館者が次のいずれかに該当する場合は、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

(1) 他の入館者に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。

(2) その他美術館の管理上支障があるとき。

(平17条例69・旧第11条繰下・一部改正、平23条例48・旧第13条繰下)

(横浜美術館指定管理者選定評価委員会)

第15条 指定管理者の候補者の選定、指定管理者による美術館の管理の業務に係る評価等について調査審議するため、横浜美術館指定管理者選定評価委員会を置く。

2 選定評価委員会は、市長が任命する委員10人以内をもって組織する。

3 前項に定めるもののほか、選定評価委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(平23条例48・追加)

(委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平17条例69・旧第13条繰下、平23条例48・旧第14条繰下)

附則

この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成元年10月規則第96号により同年11月3日から施行)

附則(平成元年9月条例第39号)

この条例は、横浜美術館条例の施行の日から施行する。

附則(平成10年3月条例第17号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成10年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際既にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき施設の使用の申請を行っている者に係る当該施設の料金の納付等に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附則(平成13年2月条例第7号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附則(平成14年2月条例第5号)抄

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

附則(平成17年6月条例第69号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の横浜美術館条例第12条の規定によりその管理に関する事務を委託している横浜美術館については、地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号)附則第2条に規定する日までの間は、なお従前の例による。

附則(平成19年2月条例第6号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附則(平成23年3月条例第23号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附則(平成23年12月条例第48号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき公の施設の管理に関する業務を行っている指定管理者が、その指定の期間においてこの条例の施行の日前までにこの条例による改正後のそれぞれの条例の規定による当該業務についての評価に相当する評価を受けている場合にあっては、当該期間においては当該業務についての評価に係るこれらの規定は適用しない。

附則(平成28年2月条例第4号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1(第10条第6項)

(平10条例17・平13条例7・平17条例69・平19条例6・平23条例23・平23条例48・平28条例4・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		個人	団体(20人以上)
一般		500円	400円
大学生・高校生	1人1回につき	300円	240円
中学生・小学生		100円	80円

(備考)

- 1 「一般」とは、「大学生・高校生」、「中学生・小学生」及び小学校(義務教育学校の前期課程、特別支援学校の小学部及びこれらに準ずるものを含む。)に就学するまでの者以外の者をいう。
- 2 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、専修学校若しくは各種学校在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 3 「中学生・小学生」とは、中学校、中等教育学校の前期課程、義務教育学校、小学校若しくは特別支援学校の中学部若しくは小学部に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者をいう。
- 4 小学校(義務教育学校の前期課程、特別支援学校の小学部及びこれらに準ずるものを含む。)に就学するまでの者は、無料とする。

別表第2(第10条第6項)

(平10条例17・平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
ピアノ学習システムブース	1回につき	100円
名画鑑賞システムブース		100円

別表第3(第10条第6項)

(平10条例17・全改、平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		平日	日曜日、土曜日及び休日
レクチャーホール	1日につき	20,000円	24,000円
		24,000円	
附帯設備	1式、1台又は1枚、1日につき	150,000円	

(備考)

- 1 「1日」とは、午前10時から午後9時までをいう。
- 2 「平日」とは日曜日、土曜日及び休日以外の日をいい、「休日」とは国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日をいう。
- 3 レクチャーホール及び附帯設備の利用が、午前10時から午後9時までの時間以外の時間(以下「時間外」という。)にわたった場合の当該時間外に係る利用料金の額は、時間外における利用1時間につき、レクチャーホール及び利用する当該附帯設備の1日の利用料金の額にそれぞれ8分の1を乗じて得た額を合算して得た額とする。この場合において、時間外における利用時間が1時間未満のとき、又はこれに1時間未満の端数があるときは、その時間又は端数時間を1時間として計算する。

別表第4(第10条第6項)

(平23条例23・追加、平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
大型車	1台、30分につき	500円
その他のもの	1台、1時間30分まで	500円
	利用時間が1時間30分を超えるときは、超過時間30分までごとに250円を加算する。	

条例・施行規則

横浜美術館条例施行規則

平成元年10月25日
規則第97号

横浜美術館条例施行規則をここに公布する。
横浜美術館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、横浜美術館条例(昭和63年9月横浜市条例第44号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 横浜美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、次のとおりとする。
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室、グランドギャラリー、企画展示室及びアトリエ 午前10時から午後6時まで
(2) レクチャーホール 午前10時から午後6時まで
(3) 駐車場 午前10時から午後9時まで(大型車にあつては、午前10時から午後6時まで)
2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、開館時間を変更することができる。
(平23規則22・一部改正)

(休館日)

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。
(1) 木曜日。ただし、その日が、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときはその翌日とし、当該翌日が休日に当たるときは日曜日、土曜日及び休日のいずれにも当たらない直近の日とする。
(2) 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで
2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、休館日に開館し、又は休館日以外の日に開館しないことができる。
(平14規則32・一部改正)

(指定申請書の提出等)

第4条 指定管理者の指定を受けようとするものは、指定申請書(第1号様式)を市長に提出しなければならない。
2 前項の申請書には、条例第5条第3項に規定する事業計画書及び次に掲げる書類を添付しなければならない。
(1) 定款、寄附行為、規約その他これらに類する書類
(2) 法人にあつては、当該法人の登記事項証明書
(3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の収支予算書及び事業計画書並びに前事業年度及び前々事業年度の収支計算書及び事業報告書
(4) 美術館の管理に関する業務の収支予算書
(5) その他市長が必要と認める書類
(平17規則89・追加、平19規則47・一部改正)

(施設の利用許可申請等)

第5条 条例第8条第1項の規定により美術館の施設の利用の許可を受けようとする者は、利用許可申請書(第2号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
2 指定管理者は、企画展示室及びアトリエについては、指定管理者と共催して美術館の設置目的に合致する事業を行うため当該施設を利用しようとする団体に対し、利用を許可するものとする。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第4条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

第6条 前条第1項の申請の受付は利用日の3箇月前の日の属する月の初日から行うものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。ただし、

指定管理者が主催し、又は共催して利用する場合は、この限りでない。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第5条線下・一部改正)

(特別利用の許可申請)

第7条 条例第9条第1項の規定により特別利用の許可を受けようとする者は、特別利用許可申請書(第3号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第6条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

第8条 前条の申請は特別利用をしようとする日の7日前までに行わなければならないものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第7条線下)

(観覧券の発行)

第9条 指定管理者は、常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料を観覧しようとする者に対し、観覧券を発行するものとする。この場合において、観覧券の発行は、閉館時間の30分前まで行うものとする。
2 前項に規定する観覧券は、利用料金と引換えに交付する。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第8条線下・一部改正)

(美術情報機器の利用)

第10条 条例第10条第2項に規定する美術情報機器を利用しようとする者は、美術情報機器に備付けの料金受入機により利用料金を納付しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第9条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(利用料金の後納)

第11条 条例第10条第7項ただし書に規定する規則で定める場合は、国又は地方公共団体が利用する場合とする。
(平10規則42・旧第11条線下・一部改正、平17規則89・旧第10条線下・一部改正、平23規則22・平24規則16・一部改正)

(利用料金の減免)

第12条 条例第11条に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、免除する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。この場合において、その額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。
(1) 教職員に引率された横浜市内の小学校(特別支援学校の小学部を含む。)若しくは中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)の児童若しくは生徒又は各種学校の小学校若しくは中学校に相当する課程に在学する者の団体及びそれらの引率者が、教育上の目的から常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料の観覧(以下「常設展の観覧」という。)をする場合 利用料金の全額
(2) 土曜日に、小学校(特別支援学校の小学部を含む。)、中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)若しくは高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の児童若しくは生徒、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校の小学校、中学校若しくは高等学校に相当する課程に在学する者又はこれらに準ずると認められる者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額
(3) 教職員に引率された横浜市内の高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の生徒又は高等専門学校、

専修学校若しくは各種学校の高等学校に相当する課程に在学者の団体及びそれらの引率者が教育上の目的から常設展の観覧をする場合 利用料金の半額

- (4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害との判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者の介護者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額
- (5) 国又は地方公共団体がレクチャーホールを利用する場合 利用料金の全額
（平7規則45・平8規則20・一部改正、平10規則42・旧第12条繰上・一部改正、平11規則28・平13規則36・平17規則31・一部改正、平17規則89・旧第11条繰下・一部改正、平19規則47・平24規則16・一部改正）

（利用料金の返還）

第13条 条例第12条ただし書に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、返還する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 常設展の観覧、美術情報機器及びレクチャーホールの利用並びに美術品及び美術に関する資料の特別利用について、観覧、利用及び特別利用をする者の責めに帰することができない事由によりこれらの行為ができなくなった場合 既納の利用料金の全額
- (2) レクチャーホールの利用の許可を受けた者が利用日の30日前までに利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額
- (3) 特別利用の許可を受けた者が利用日の前日までに特別利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額
（平10規則42・追加、平17規則89・旧第12条繰下・一部改正、平24規則16・一部改正）

（委任）

第14条 この規則の施行に関し必要な事項は、文化観光局長が定める。
（平10規則42・旧第14条繰上、平17規則89・旧第13条繰下・一部改正、平18規則84・平22規則29・平23規則22・一部改正）

附則

この規則は、平成元年11月3日から施行する。

附則（平成4年9月規則第88号）

この規則は、平成4年9月12日から施行する。

附則（平成6年3月規則第41号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

（経過措置）

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の（中略）規定により作成されている様式書類は、この規則の施行の日から1年間は、適宜修正の上使用することができる。

附則（平成7年3月規則第45号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附則（平成8年3月規則第20号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附則（平成10年3月規則第42号）

（施行期日）

1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のそれぞれの規則の規定は、この規則の施行の日以後の申請に係る料金の減免及び返還について適用し、同日前の申請に係る料金の減免及び返還については、なお従前の例による。

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前のそれぞれの規則の規定により作成されている様式書類は、なお当分の間、適宜修正の上使用することができる。

4 前2項に定めるもののほか、この規則の施行について必要な事項は、市長が定める。

附則（平成11年3月規則第28号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附則（平成13年3月規則第36号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附則（平成14年3月規則第32号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附則（平成17年3月規則第31号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成17年6月規則第89号）

この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成18年3月規則第84号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

（経過措置）

5 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成19年3月規則第47号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則（平成22年3月規則第29号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

（経過措置）

6 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成23年3月規則第22号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、第14条の改正規定は、平成23年5月1日から施行する。

附則（平成24年3月規則第16号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附則（平成28年3月規則第23号）

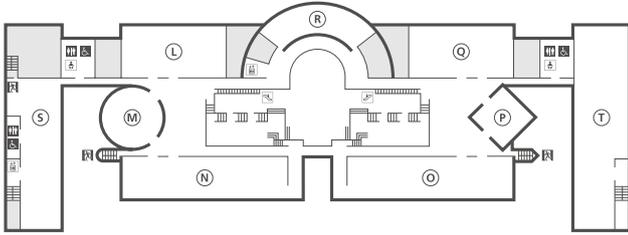
この規則は、平成28年4月1日から施行する。

第1号様式（第4条第1項）

（平17規則89・追加、平19規則47・一部改正）

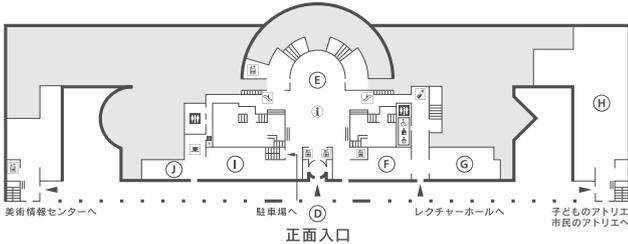
※ 様式省略

3F



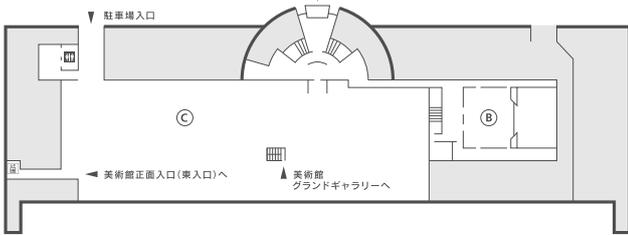
- ①-② 展示室
- ③ 美術情報センター
- ④ 市民のアトリエ

2F



- ⑤ 正面入口
- ⑥ グランドギャラリー
- ⑦ アートギャラリー2
- ⑧ アートギャラリー1
- ⑨ 子どものアトリエ
- ⑩ ミュージアムショップ
- ⑪ カフェ

1F



- ⑫ 西入口
- ⑬ レクチャーホール
- ⑭ 駐車場

建築概要

敷地面積 19,803m²
 建築面積 9,621m²
 延床面積 26,829m²
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造8階建(一部3階建)
 外装 花崗岩張り、アルミ成型板張り、軽量コンクリート金ゴテ押さえ、断熱セメントブロック敷込み、金属成型板張り
 内装 岩綿吸音板、プラスターボード、フレキシブルボード、金属成型パネル、花崗岩張り、フローリング板張り
 設計 丹下健三・都市・建築設計研究所
 監理 横浜市建築局、丹下健三・都市・建築設計研究所
 施工 建築工事:JV(竹中工務店、清水建設、奥村組、東急建設、佐藤工業、奈良建設ほか計18社)

休館日

木曜日(祝日を除く)、木曜日に祝日開館した場合はその翌日、年末年始。

開館時間

展覧会: 10:00~18:00(入館は17:30まで)
 美術情報センター: 10:00~18:00(入室および各種利用受付は17:30まで)
 *次の施設は利用時間が異なります。
 ミュージアムショップ: 11:00~18:00
 Café小倉山: 10:45~18:00(ラストオーダー17:30)
 駐車場: 10:00~21:00/収容台数: 169台
 有料(最初の90分500円、以降30分毎に250円)

観覧料

コレクション展: 一般	500(400)円
大学・高校生	300(240)円
中学生	100(80)円
小学生以下	無料

企画展: 展覧会ごとに異なる

()内は有料20名以上の団体料金(要事前申込)

交通案内

電車:

みなとみらい線(東急東横線直通)を利用の場合:
 みなとみらい駅下車、3番出口からマークイズみなとみらい<グランドガレリア>経由、徒歩3分。または<マークイズ連絡口>(10:00~)徒歩5分。
 JR、横浜市営地下鉄を利用の場合:
 桜木町駅下車(動く歩道)を利用、徒歩10分。

車:

桜木町駅前から日本丸方面へ入る。または桜木町駅前から紅葉坂交差点を右折してMM21地区へ入り、美術館へ。横浜駅からは高島町MM21地区入口を通して美術館へ。いずれも3~5分(首都高速「みなとみらい出入口」も利用できます)。

令和1年度 横浜美術館年報

令和2年11月30日発行

編集・発行：横浜美術館

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1

TEL:045-221-0300(代) FAX:045-221-0317

<https://yokohama.art.museum>

デザイン：峯石景子

印刷・製本：山陽印刷株式会社

© Yokohama Museum of Art 2020

